

2021年度決算の概要

(2021年4月1日～2022年3月31日)

ご説明資料

2022年4月28日



山陽特殊製鋼株式会社



<https://www.sanyo-steel.co.jp/>

目次

1. 2021FY決算

2021FY決算

事業環境

経常利益の変化要因(2021FY前回予想→2021FY)

Ovakoについて

2021FY配当

今後の見通し

2. 当社金属粉末事業のご紹介

成長市場における当社金属粉末事業の強み

当社金属粉末事業の取り組み

3. 決算の詳細

経常利益の変化要因(2020FY→2021FY)

Ovakoの状況、MSSSの状況

セグメント別損益

貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書

設備投資・減価償却費の推移、D/Eの推移

4. 2050年カーボンニュートラル（CN）実現に向けた取り組み

5. トピックス

6. 参考資料

主要市場動向

業績推移(年度、四半期)、損益の詳細等

1. 2021FY決算

2021FY決算

1. 2021FY業績概要

連結経常利益217億円(前年同期比+264億円) Ovakoの決算期変更影響を除く利益は198億円

- ・原燃料価格上昇の影響があったものの、サーチャージ適用にともなう販売価格の上昇、売上数量の増加、Ovakoをはじめとするグループ会社の収益改善等により前年比増益。
- ・前回予想比では、当社単独のサーチャージ適用にともなう販売価格の上昇や、Ovakoの利益増加により増益。

(参考) 2021FYの売上数量…Ovakoは2021/1～2022/3の15ヵ月、MSSSは2021/1～12

	2021FY(A)	2020FY(B)	増減 (A)－(B)	前回予想 (22/1/27) (C)	増減 (A)－(C)
売上数量(千t)	1,995	1,367	+628	2,007	-13
内、当社単独	1,002	704	+298	1,010	-8
内、Ovako	1-3月 178 4-3月 696 } 873	572	+302	877	-4
内、MSSS	119	91	+29	119	-1

2. 損益計算書 (対2020FY、前回予想)

(単位:億円、%)

	2021FY(A)	2020FY(B)	対前年同期 (A)－(B)	前回予想 (22/1/27) (C)	対前回予想 (A)－(C)
売上高	3,633	2,107	+1,526	3,600	+33
営業利益	214	▲55	+269	159	+55
経常利益	217	▲48	+264	160	+57
ROS	6.0	-2.3	+8.3	4.4	+1.6
内、当社単独	99	22	+77	83	+16
内、Ovako(注1)	1-3月 25 4-3月 109 } 134	▲24	+158	100	+34
内、MSSS(注2)	4	▲13	+17	4	0
内、のれん償却費	1-3月 ▲7 4-3月 ▲27 } ▲34	▲26	-8	▲34	0
税後利益(注3)	153	▲69	+221	108	+45
のれん償却費を除く税後利益	186	▲42	+229	142	+44

(注1) Ovakoは、2021年1～2022年3月期を連結 (注2) MSSSは、2021年1～12月期を連結 (注3) 当期純利益

事業環境

需要動向

主要需要分野は堅調も、半導体不足による自動車減産の影響が現出。

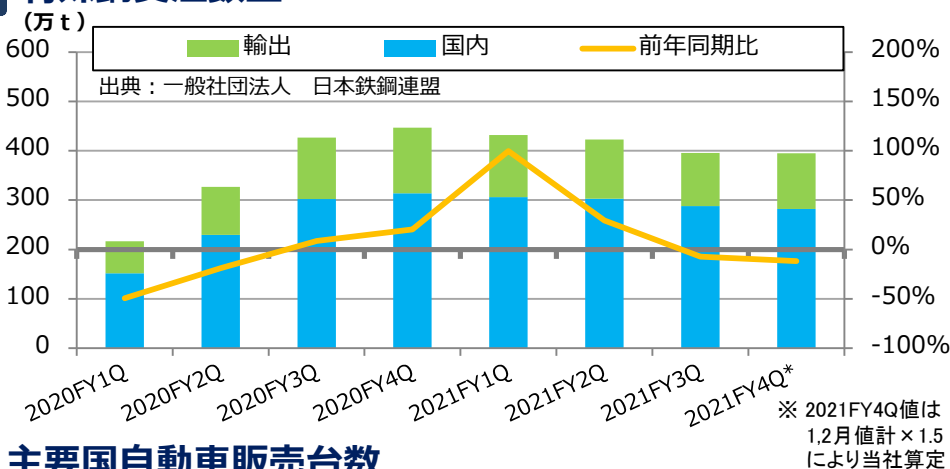
原燃料価格

2021FYは需給タイト化し価格上昇。ウクライナ情勢受け資源インフレが加速。

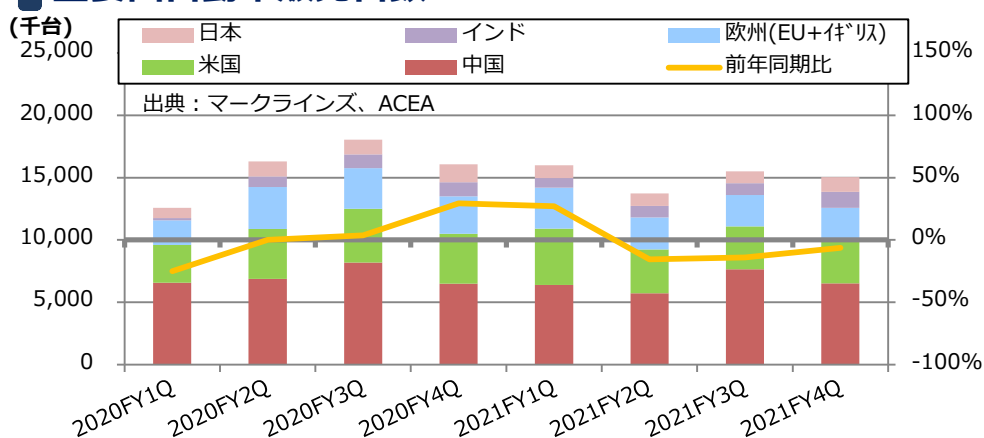
ウクライナ侵攻

当社、Ovakoともに両国向けの販売は僅少で、影響は限定的。
調達面では合金鉄で両国産の使用あるも、他地域からの振替、代替供給先を確保済み。
代替供給者に需要が集中するリスクがあるため価格の動向含め注視していく。

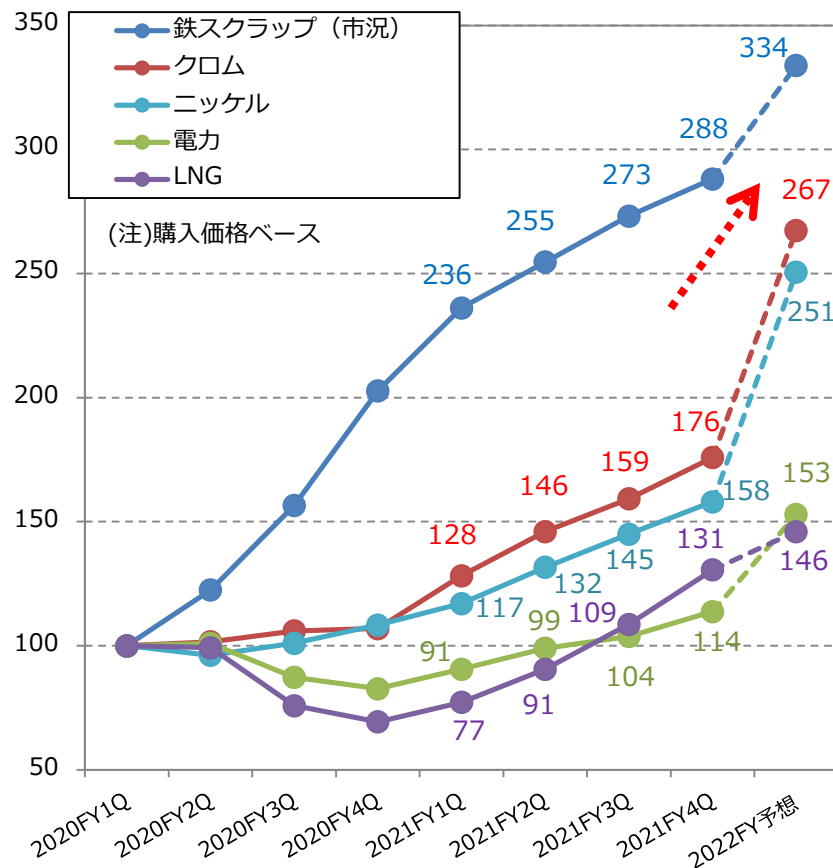
特殊鋼受注数量



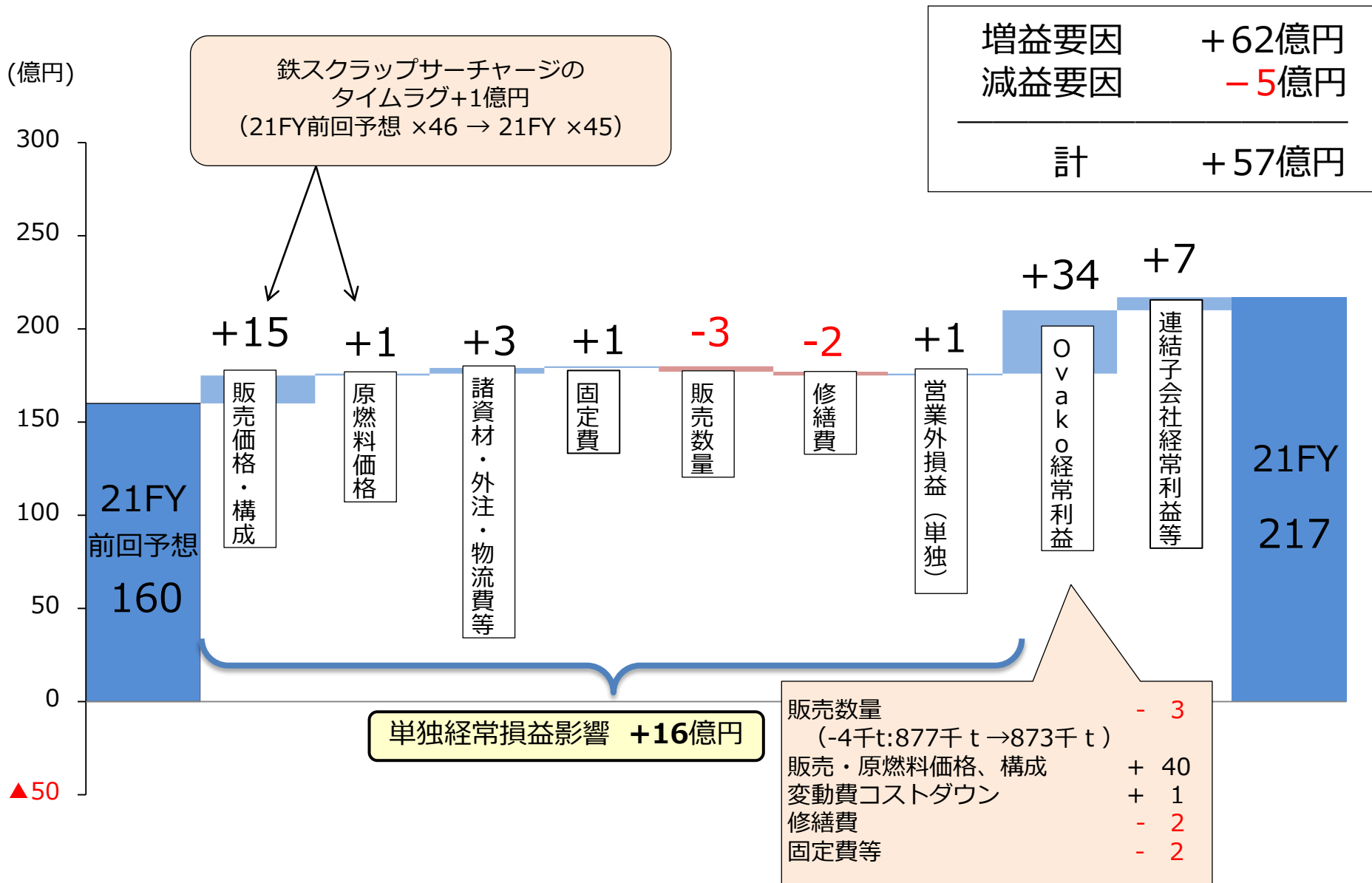
主要国自動車販売台数



原燃料価格推移



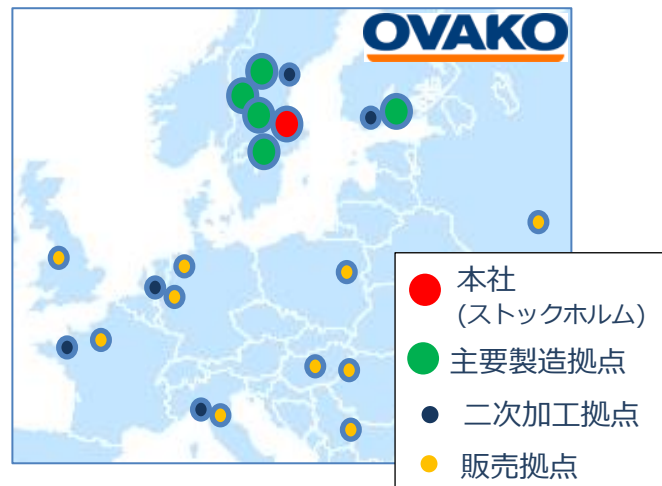
経常利益の変化要因 (2021FY前回予想→2021FY)



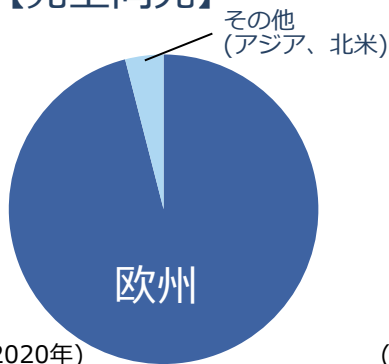
Ovakoについて①

【本社所在地】 スウェーデン スtockホルム
 【当社出資比率】 100% (2019年3月子会社化)
 【主な製品】 軸受鋼、構造用鋼など
 【従業員数】 2,714人 (2022年3月31日現在)

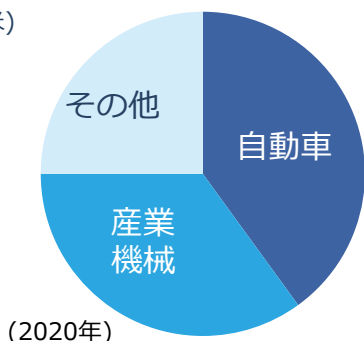
【事業拠点】



【売上向先】



【需要分野】



- ・ 軸受鋼に強みあり
- ・ 向け先：欧州が9割
- ・ 主要な需要分野は自動車、産業機械

【製品概要】

BQ-Steel
 Bearing Quality



部品の小型化・高負荷化に対応
 長寿命化に貢献する高纯净度鋼

IQ-Steel
 Isotropic Quality



更に高い疲労強度を実現する超高纯净度鋼
 部品信頼性向上に貢献

WR-Steel
 Wear Resistant



重機等の長寿命に貢献する耐摩耗鋼
 優れた加工性・溶接性により柔軟な設計が可能

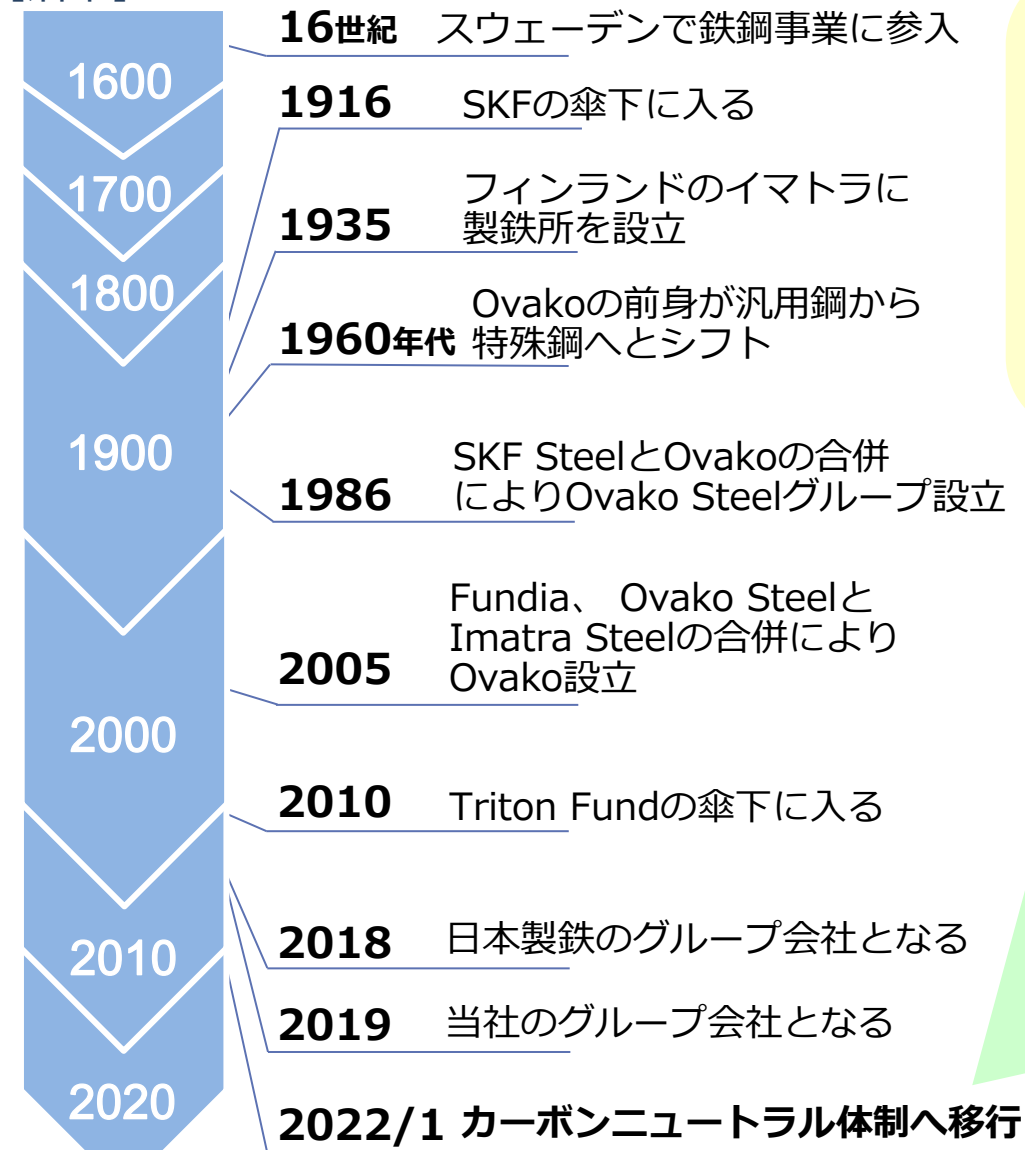
M-Steel
 Machinability



切削加工性に優れた快削鋼
 部品メーカーの生産性・コスト改善・
 工具寿命延長に貢献

Ovakoについて②

【沿革】



収益力強化の取り組み

- ベース値上げ、気候サーチャージ、エネルギーサーチャージによるマージン改善
- 人員抑制し、変動費の削減と固定費のコントロールを徹底
- 3社連携(日本製鉄、Ovako、当社)によるシナジー効果の発揮

カーボンニュートラルに関する取り組み

- 世界初 水素を燃料に用いた鋼材加熱に成功(2020年4月)
- スウェーデンHofors工場内にカーボンフリー水素プラントを建設中(2021年6月～)



鋼片加熱の様子



Hofors工場

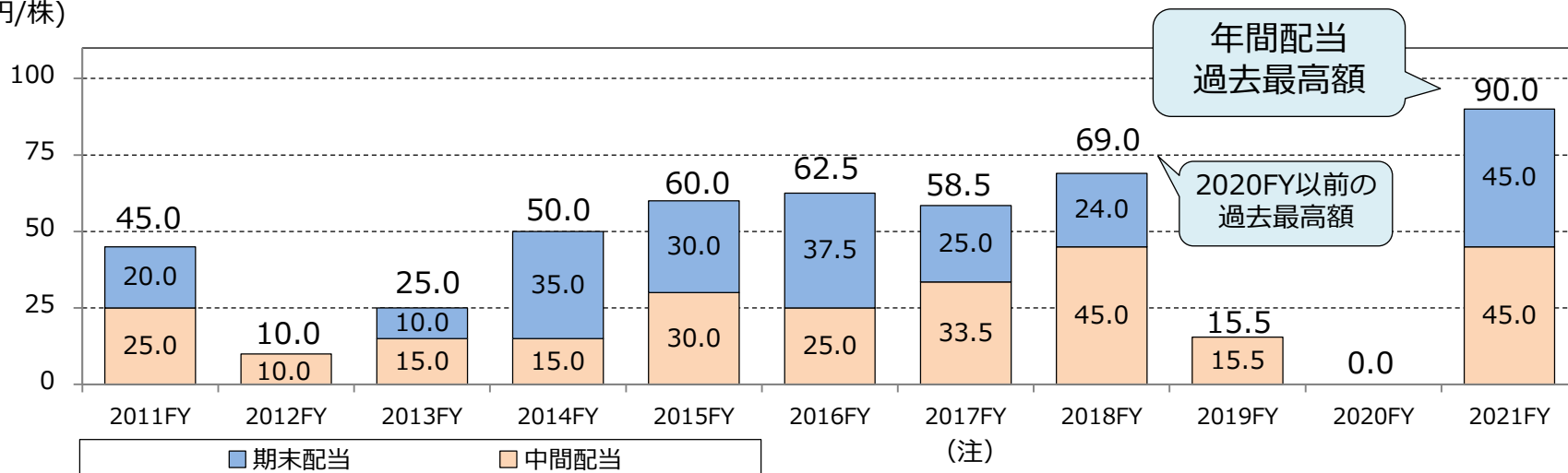
※スウェーデンは

- ・ 脱化石電力(水力、風力、原子力)比率が圧倒的に高い。
- ・ 産業用電力料金は日本の1/2～1/3程度。

2021FY配当

			中間 (実績)	決定額 (A)		前回予想 (B) 22/1/27		増減 (A) - (B)	
				期末	通期	期末	通期	期末	通期
1株当たり純利益	A	円/株	133.8	-	280.2	-	198.2	-	+82.0
のれん償却費を除く 1株当たり純利益	B	円/株	170.8	-	342.1	-	260.6	-	+81.5
1株当たり配当金	C	円/株	45.0	45.0	90.0	35.0	80.0	+10.0	+10.0
配当性向	C/B	%	26.3	-	26.3	-	30.7	-	-4.4
	C/A	%	33.6	-	32.1	-	40.4	-	-8.3

(円/株)



(注) 2017年10月1日に株式併合(5株を1株)を実施。当該株式併合を踏まえて換算。

<配当方針>

のれん償却費を除く1株当たり当期純利益に配当性向 30%程度を乗じた金額を配当額とする

今後の見通し

2022FY見通し

原燃料価格

ロシアによるウクライナ侵攻などの影響により未曾有のコストアップ

特殊鋼需要

半導体不足などによる自動車減産や在庫調整、中国のコロナ再拡大の影響

今後の原燃料価格や特殊鋼需要の動向が不透明



**「マージンの維持・拡大」を基本方針とし
コストアップや需要動向が不透明な中でも
通期経常利益140億円を目指す**

配当予想

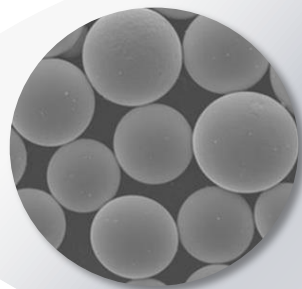
次期の配当につきましては、今後の原燃料価格や特殊鋼需要の動向が不透明であるため、未定とさせていただきます。

2. 当社金属粉末事業のご紹介

成長市場における当社金属粉末事業の強み

Ni基 Fe基 Co基

Cu基



山陽特殊製鋼の金属粉末事業

**幅広い合金設計が可能な
流動性の良い球状粉末を提供**

(真空溶解+不活性ガスアトマイズ)

+

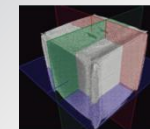
**特殊鋼メーカーとして培った
冶金技術と評価・解析体制で
お客様の商品開発をサポート**



金属3Dプリンター



CTスキャン装置



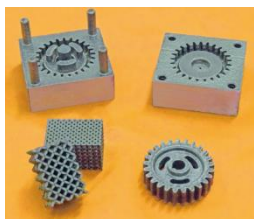
造形体の内部
欠陥解析例

世界最大級の2t炉と300kg・200kg・50kg・30kg・2kg/バッチの粉末製造設備で、量産から研究開発用試作までフレキシブルに対応

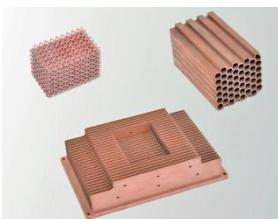
NOVASHAPE®

3Dプリンター用粉末

社会ニーズに対応する独自開発商品と、3D造形に適した合金・造形条件を提案



コバルト(特定化学物質)を使用しない3D造形用
マルチエージング鋼粉末

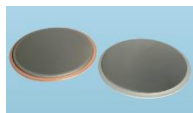


3D造形性に優れた
銅合金粉末

スパッタリング(薄膜形成用)

ターゲット材

磁性材料に関する高度な知見で多様なニーズに応じた合金を開発



スパッタリング
ターゲット

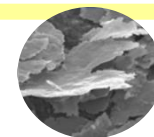
HDDメディア用

磁気ヘッド用

MRAM用

電磁波吸収体用

磁性粉末



多様な用途(幅広い周波数帯)に対応する磁性粉末をラインナップ



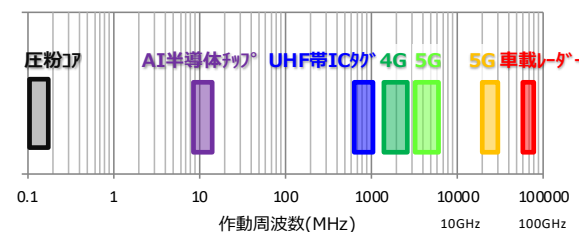
近距離通信(NFC)に



ワイヤレス充電(WPC)に



将来の自動運転に

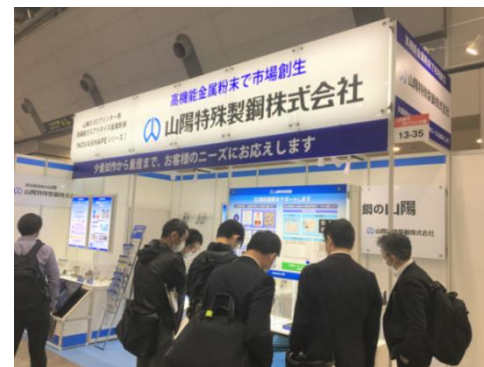


当社金属粉末事業の取り組み

「第4回次世代3Dプリンタ展」への出展 (2022年3月16日～18日)

東京ビッグサイトで開催された
「第4回次世代3Dプリンタ展」に出展
【当社出展製品例】

- ・ 3Dプリンター用高機能金属粉末
「NOVASHAPE®シリーズ」および造形物
- ・ 3Dプリンター用銅合金粉末
- ・ Coフリーマルエージング鋼粉末
- ・ 金属磁性粉末(電磁波吸収体用扁平粉末等) 等



歯科医療向け人口歯用3Dプリンター粉末を実用化 (2022年4月25日)

株式会社アイディエス(歯科医療用材料・製品メーカー)とともに、国立研究開発法人である産業技術総合研究所の協力のもと歯科医療向け人口歯用3Dプリンター粉末を実用化。

国産材料である当社の3Dプリンター粉末使用により、
歯科医療への3D造形適用が拡大

➡ 歯科医療のスピードアップや品質向上、環境負荷低減が期待できる



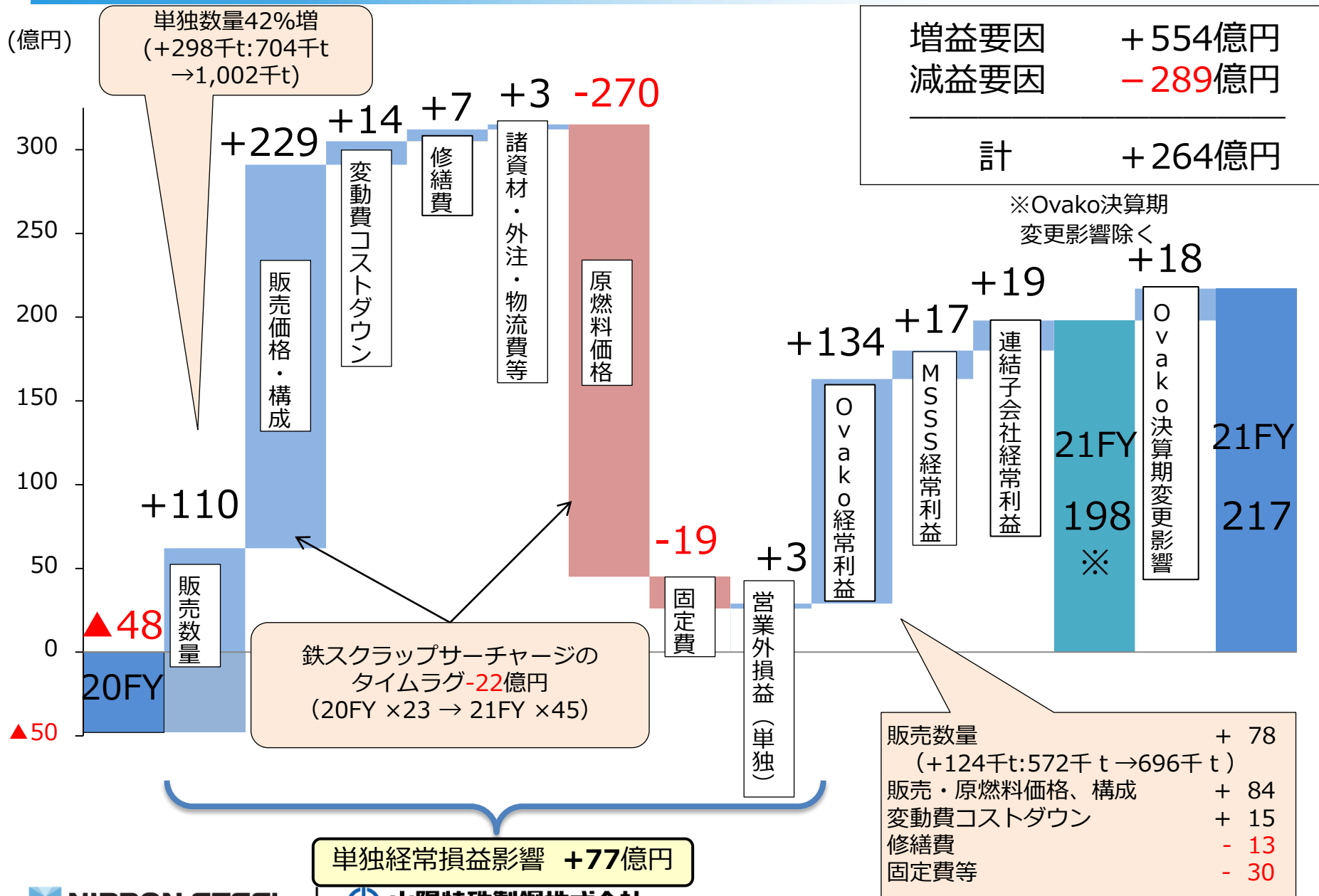
■従来の鋳造法と3D造形法との工程の違い



■歯科医療で用いられる人工歯や義歯床等

3. 決算の詳細

経常利益の変化要因 (2020FY→2021FY)



Ovakoの状況

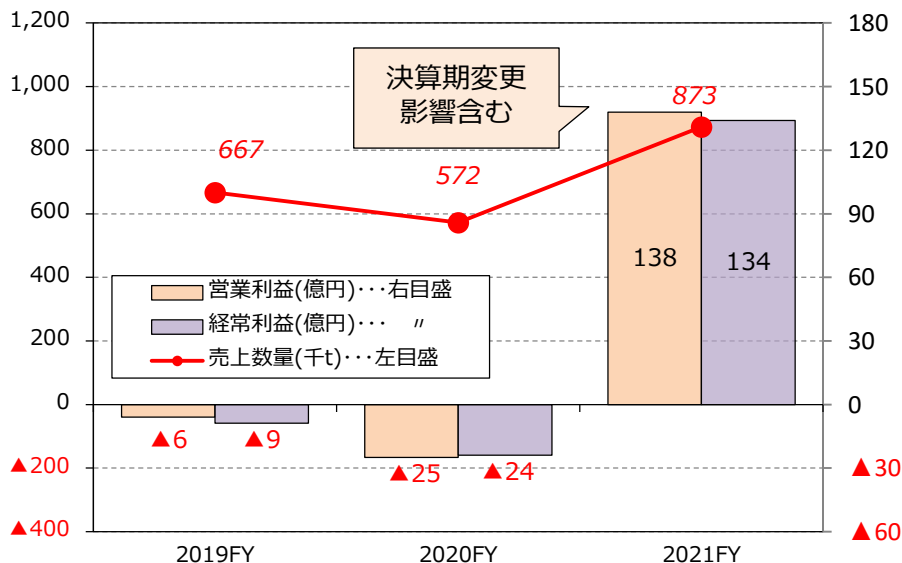
2021年度の業績および事業環境

2021FY：経常利益134億円（2020FY比+158億円）

決算期変更影響を除く利益は109億円（4-3月の利益としては2011年以来の高水準）

- ・ 堅調な需要に加え、サプライチェーンの在庫積増し、中国からの輸入減の間接影響もあり売上数量増。
- ・ 売上数量増に加えて、**ベース値上げ**、**気候サーチャージ導入**によるマージン改善、収益改善効果等により前年比増益。
- ・ ウクライナ侵攻による顕著な影響現出はないものの、状況の変化について注視。
- ・ 2022年4月1日から**エネルギーサーチャージを導入**。ベース値上げおよびエネルギーサーチャージによるマージン確保に加え、生産構造最適化の着実な実行を通じ、引き続き固定費のコントロールを徹底。

売上数量、営業利益、経常利益推移



収益力強化の取り組みと3社連携

・収益力の強化

- ▶ ベース値上げ、気候サーチャージ、エネルギーサーチャージによるマージン改善
- ▶ ミル間での能力の融通を含めた最適シフト体制を構築し、高生産水準下においても人員を抑制
- ▶ 変動費の削減、固定費のコントロールを徹底し、持続的な損益分岐点の引き下げを図る

・3社連携によるシナジー効果の発揮

- ① 拡販活動の推進
- ② 操業支援によるコスト削減
- ③ 調達コストの削減

MSSSの状況

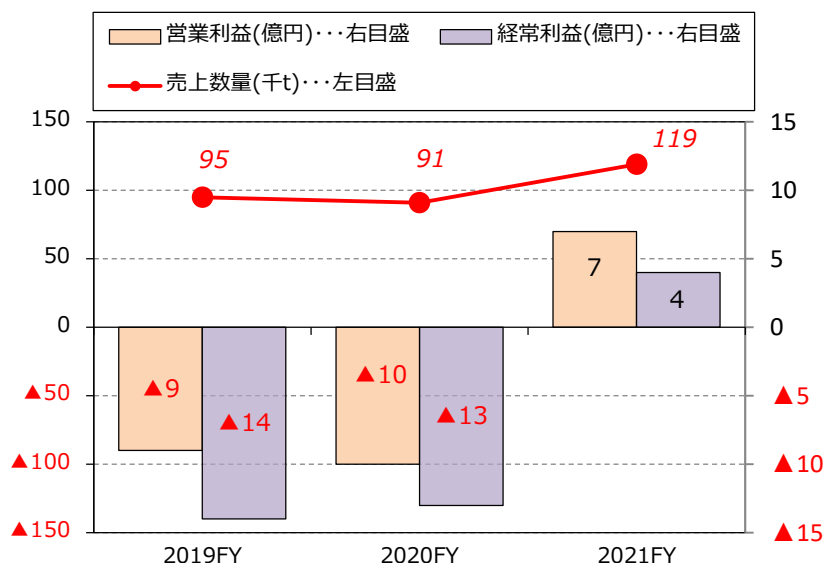
Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.
 本社インドムンバイ。特殊鋼一貫製造・販売子会社。2018年6月子会社化。

2021年度の業績および事業環境

2021FY:経常利益4億円(2020FY比+17億円)

- ・コロナによる酸素供給停止で稼働減少があったものの、インド経済の回復基調を背景に売上数量が増加したことに加えて、販売価格・構成改善等により通期での黒字化を実現。
- ・ウクライナ侵攻に伴い原燃料価格が高騰。
→コスト上昇分の販売価格への適切な反映を図る

売上数量、営業利益、経常利益推移



収益確保に向けた取り組み

- ・営業基盤・営業体制の強化
 高纯净度技術を生かした営業戦略策定、
 拡販、販売構成の高度化、販売価格の改善
- ・変動費の削減
 エネルギー原単位改善や安価原料の有効活用による操業コスト・調達コストの削減
- ・固定費の抑制

↓

当社のブランド力の礎である
 高纯净度鋼のグローバル対応を強化し、
 成長市場であるインドでの確固たるポジションを築く。

セグメント別損益

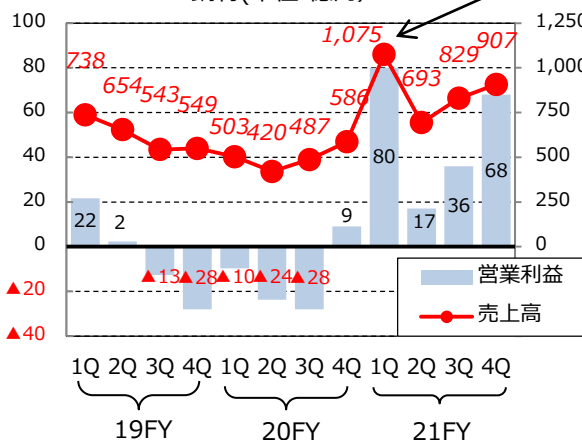
(単位：億円、%)

	2021FY(A)			2020FY(B)			対前年同期(A)-(B)		
	売上高	営業利益	売上高 営業利益率	売上高	営業利益	売上高 営業利益率	売上高	営業利益	売上高 営業利益率
鋼材	3,503	201	5.8	1,997	▲52	-2.6	+1,506	+254	+8.4
粉末	46	8	18.0	35	3	7.6	+11	+6	+10.4
素形材	180	4	2.0	137	▲6	-4.5	+42	+10	+6.5
小計	3,728	213	5.7	2,169	▲56	-2.6	+1,559	269	+8.3
その他	11	0	2.4	16	0	2.9	-4	-0	-0.5
調整額	▲107	1	—	▲77	1	—	-30	+0	—
連結計	3,633	214	5.9	2,107	▲55	-2.6	+1,526	+269	+8.5

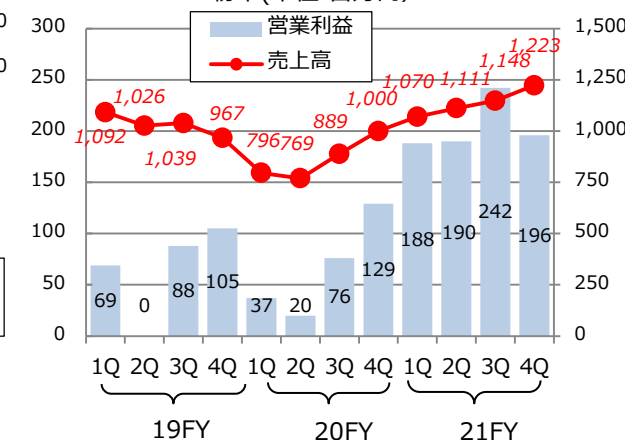
事業別損益推移

鋼材セグメントには
Ovako決算期変更影響を含む

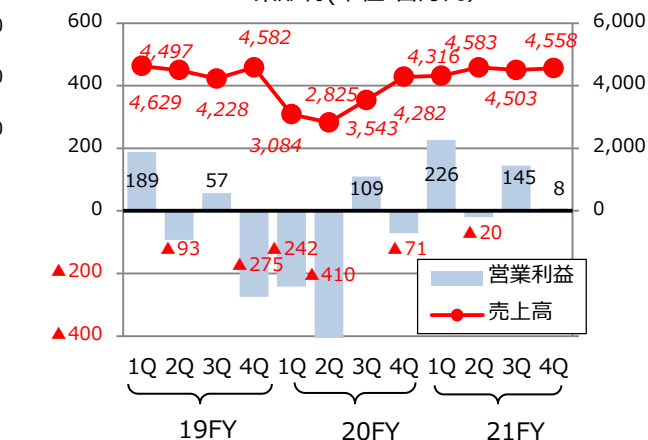
鋼材(単位:億円)



粉末(単位:百万円)



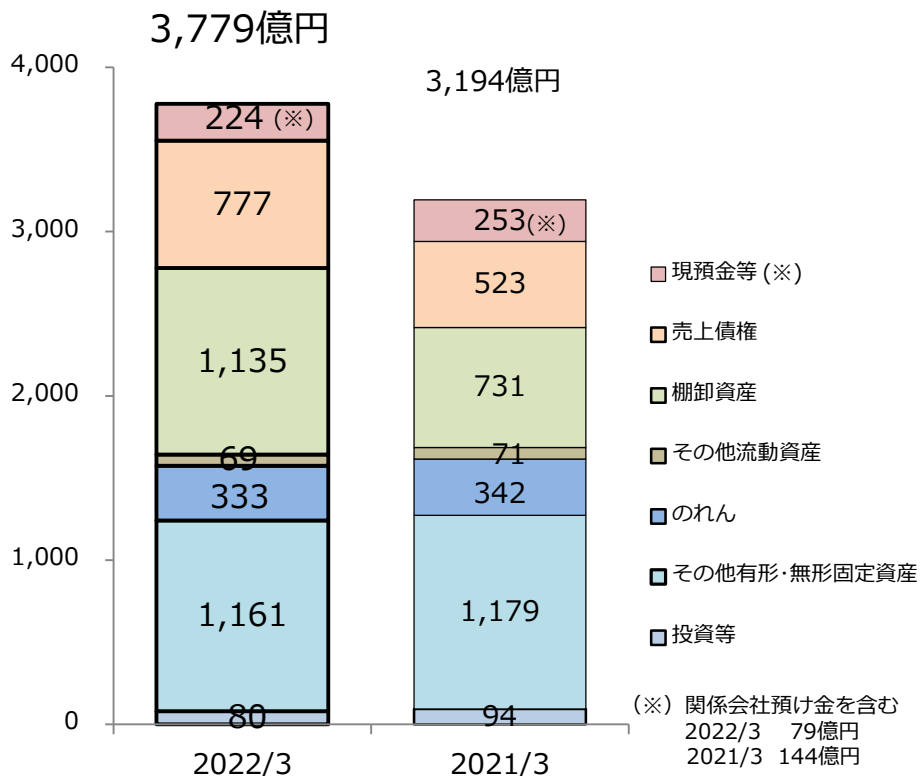
素形材(単位:百万円)



貸借対照表

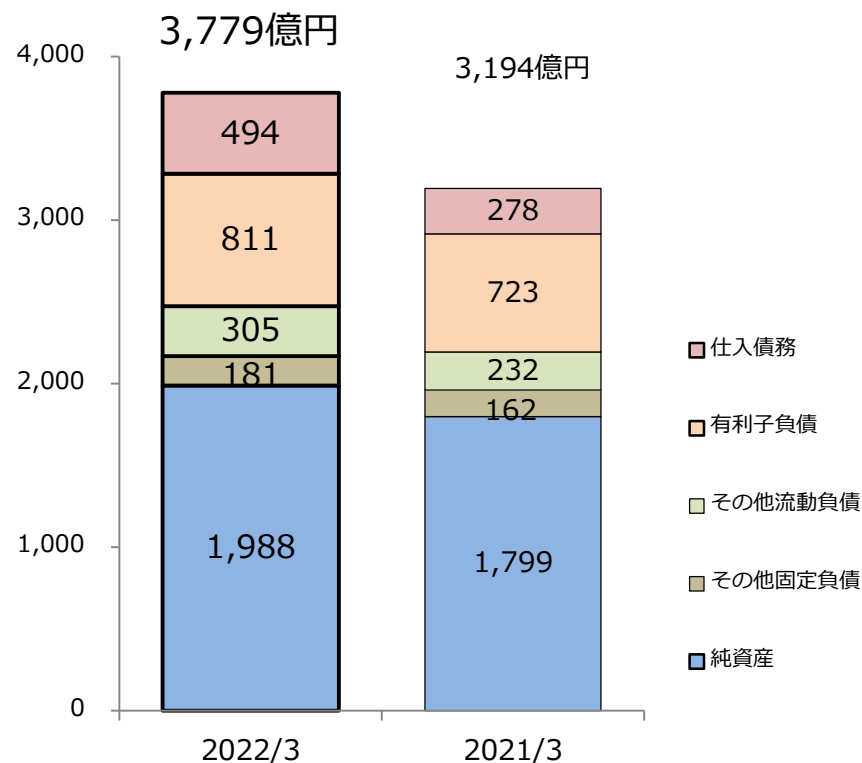
(億円)

資産



(億円)

負債・純資産



資産の主な増減 +586億円 (+18%)

現金等 - 29億円：運転資金増加に伴う現金等減少
 売上債権 +254億円：売上数量増加等に伴う売上債権増加
 棚卸資産 +404億円：原燃料価格上昇、売上増加に伴う在庫増加
 のれん - 9億円：償却 -34億円、為替影響 +25億円

負債・純資産の主な増減 +586億円 (+18%)

仕入債務 +216億円：原燃料価格上昇、売上増加に伴う仕入増
 有利子負債 + 89億円：運転資金増加に伴う有利子負債増加
 純資産 + 190億円：利益剰余金 +128億円、
 その他の包括利益累計額 +58億円

(参考)主要各社の総資産額(2022/3末:連結消去前)
 当社 2,682億円 Ovako 1,199億円 MSSS 129億円

自己資本比率
 2022/3末 52.1% 2021/3末 55.9%

キャッシュ・フロー計算書

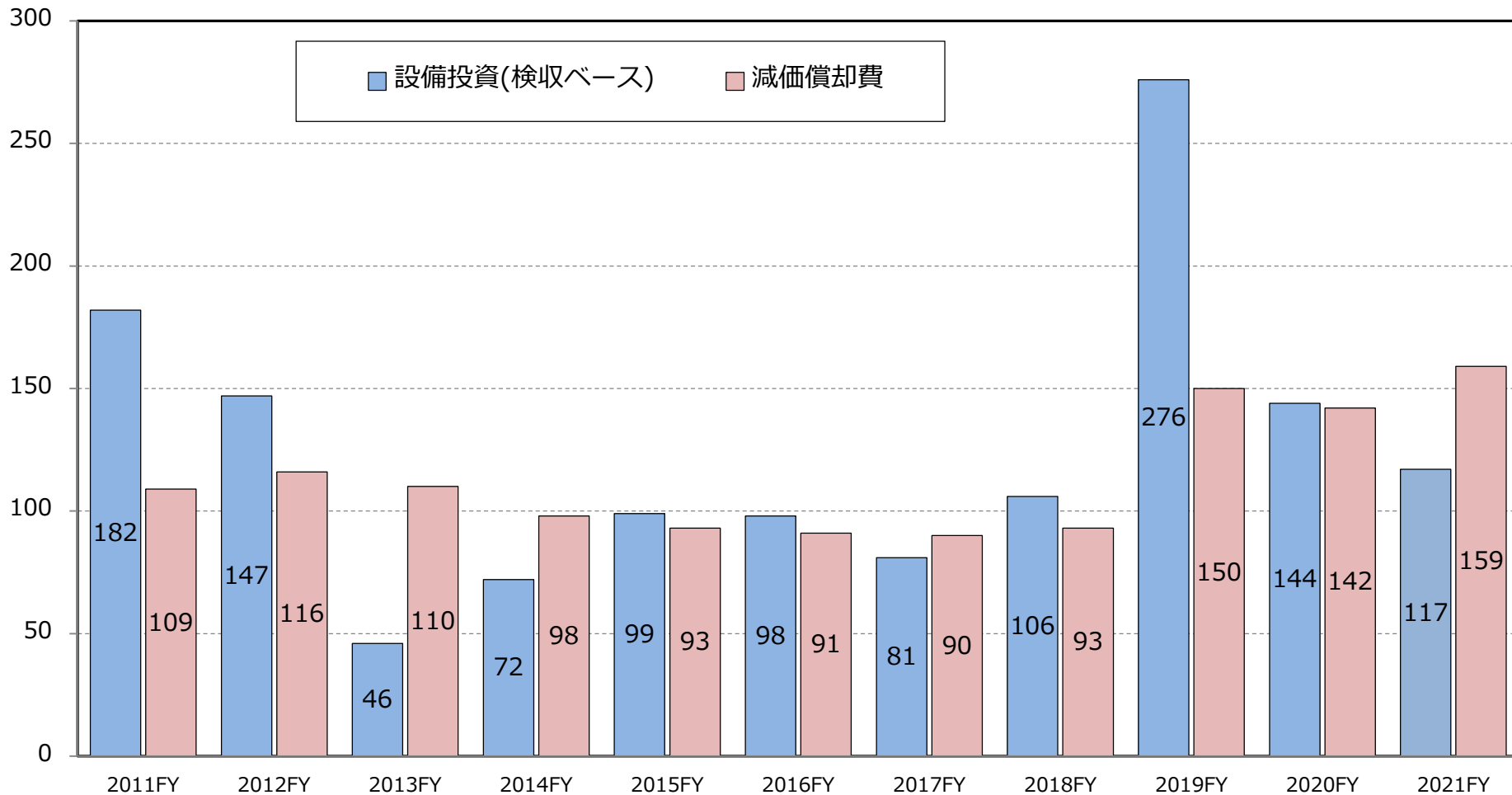
(億円)

	2017FY	2018FY	2019FY	2020FY	2021FY
営業活動によるC/F (A)	△56	108	394	223	71
税金等調整前当期純利益	193	200	160	112	403
EBITDA (簡便計算)	{ 103 90	{ 104 96	{ △33 193	{ △95 207	{ 210 193
減価償却費・のれん償却費等	△37	△33	△42	13	△4
法人税等の支払または還付	△212	△60	276	98	△327
運転資金等					
投資活動によるC/F (B)	△84	△690	△125	△194	△133
設備支出	△80	△91	△183	△189	△137
子会社株式取得	—	△604	—	—	—
株式売却収入	1	1	22	3	6
その他	△4	4	36	△8	△1
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△140	△583	270	29	△62
財務活動によるC/F (C)	147	659	△211	△55	23
借入金・社債・CP・リース債務の増減	166	5	△164	△54	48
株式の発行による収入	—	671	—	—	—
自己株式の取得または売却	△0	△0	△25	△0	△0
配当金の支払	△23	△23	△22	△0	△24
その他	4	5	△0	△0	△0
換算差額 (D)	△0	△2	△4	2	9
キャッシュ増減 (A+B+C+D)	8	75	54	△23	△30

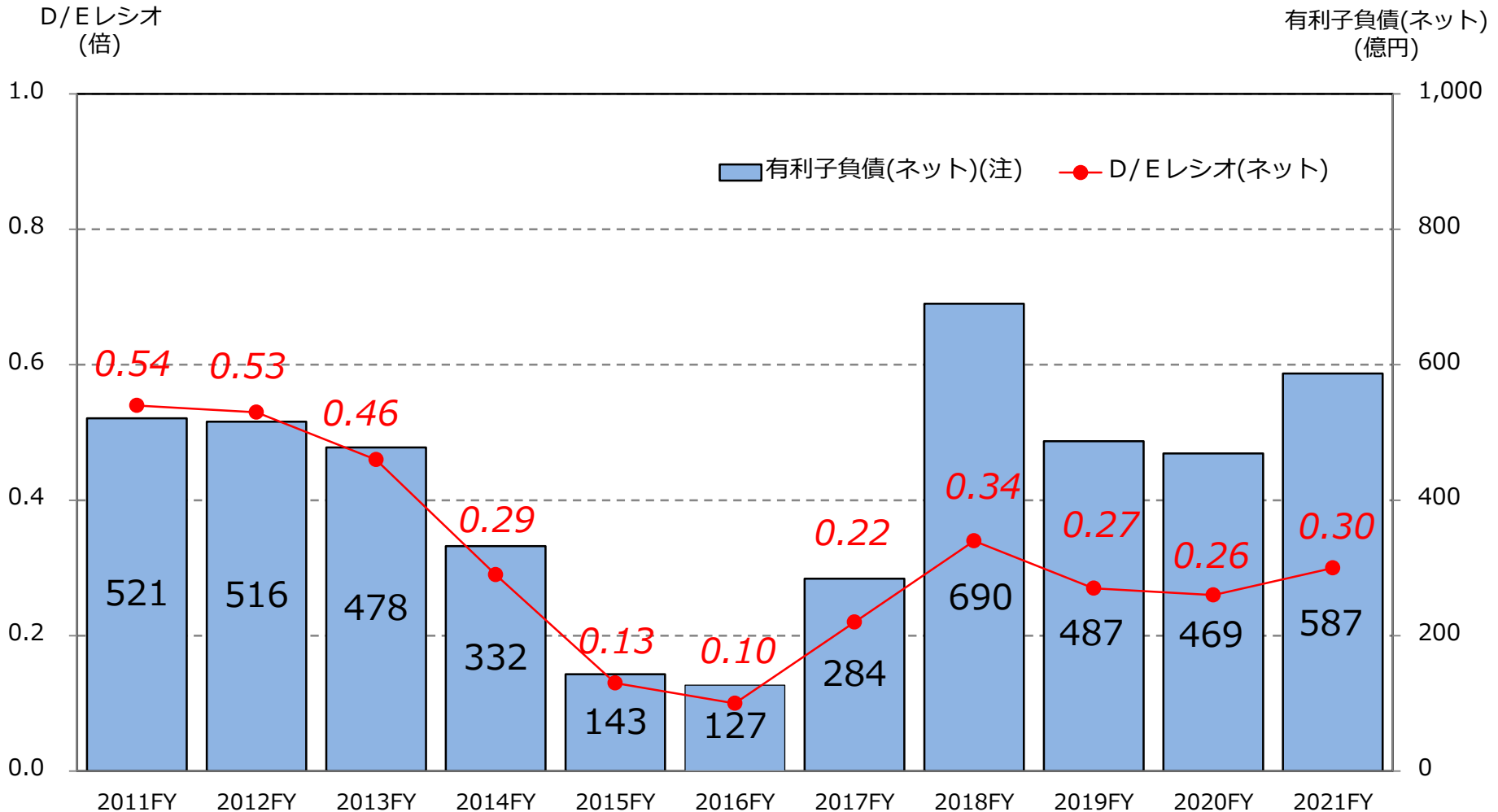
(注)キャッシュには関係会社預け金含む

設備投資・減価償却費の推移

(億円)



D/Eの推移



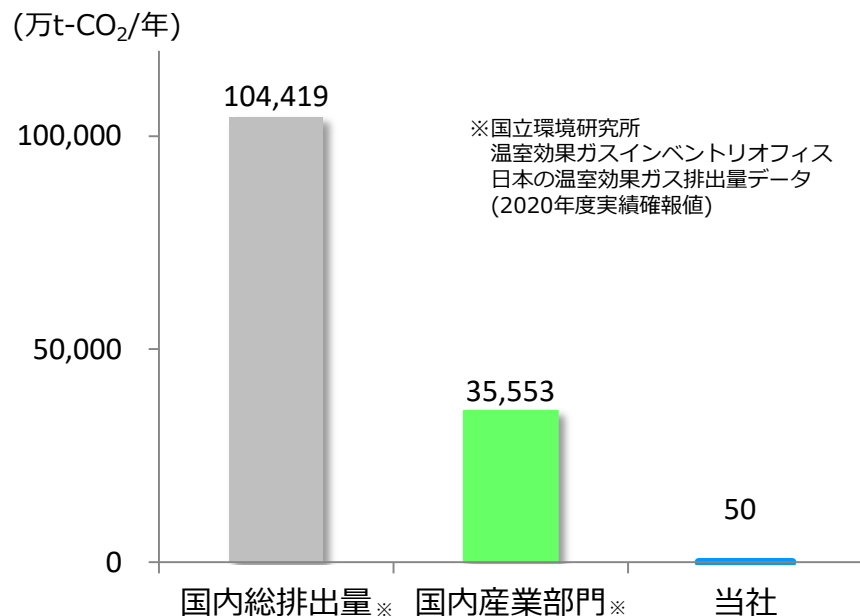
(注)有利子負債(ネット)は、有利子負債残高から現預金および関係会社預け金残高を控除したものの

4. 2050年カーボンニュートラル(CN) 実現に向けた取り組み

当社の状況とカーボンニュートラルに向けた考え方

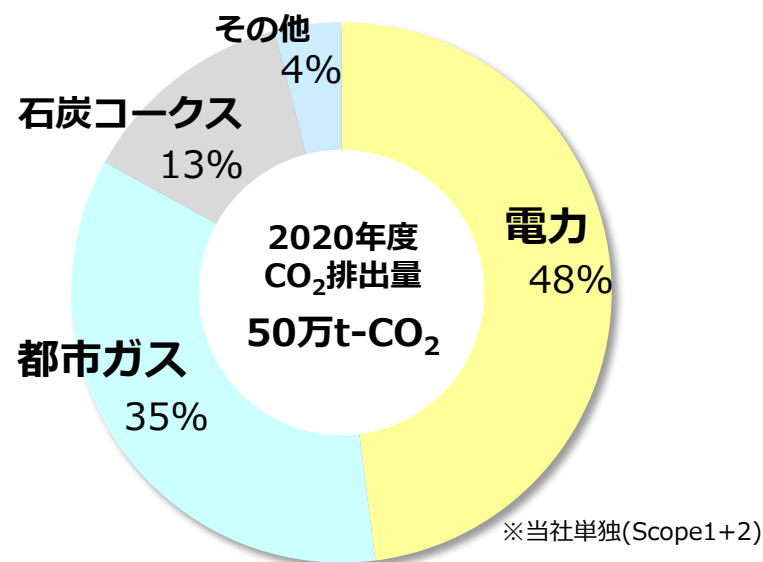
CO₂排出量における当社の位置づけ

(2020年度CO₂排出量)



■再生資源である鉄スクラップを主原料として特殊鋼を製造する当社のCO₂排出量は、国内産業部門の0.2%程度

当社のCO₂排出量内訳

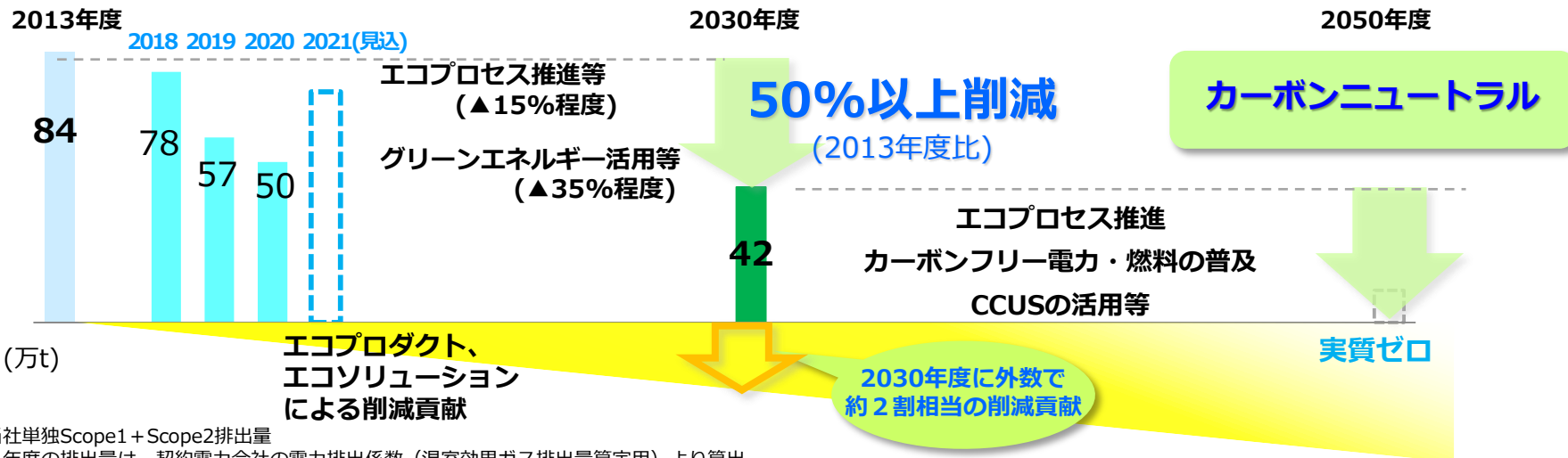


■当社のCO₂排出の80%以上が電力と都市ガス

製造工程における省エネとグリーンエネルギーの活用、およびエコプロダクト・エコソリューションによる貢献で、自社の製造工程だけでなく、社会のあらゆる段階でのCO₂排出削減を目指す

2050年に向けた当社のロードマップ

【当社CO₂排出量】



※当社単独Scope1+Scope2排出量

※各年度の排出量は、契約電力会社の電力排出係数（温室効果ガス排出量算定用）より算出

エコプロセス



製造現場を中心とした全社の省エネ対策やエネルギー効率を高める製造技術開発を推進

- リジエネバーナーを採用した省エネ加熱炉

グリーンエネルギー活用



カーボンフリー電力や脱化石燃料、自然エネルギーの活用

※Ovako事例参照

エコプロダクト



製品を使用する段階でCO₂排出削減に貢献する商品や、需要家のエコプロセスに貢献する商品の開発・供給を推進

- 長寿命風力発電用軸受鋼の開発

エコソリューション



エネルギー原単位削減に寄与する省エネや生産性向上技術をOvako、MSSS等の海外グループ会社に展開

- 海外グループ会社への技術展開

エコプロダクトによるCO₂排出量削減への貢献

当社は、お客様での部品製造や最終製品としての使用段階におけるCO₂排出削減に貢献するエコプロダクトの開発に注力

長寿命軸受鋼

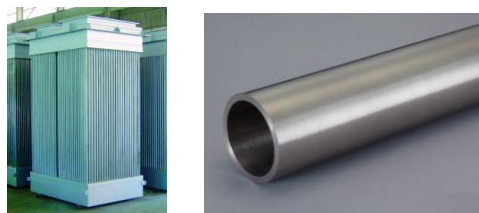


耐久性・信頼性向上による
部品の小型・軽量化



長寿命化による
故障率低減・メンテフリー化

耐熱ステンレス鋼管



高強度化による
熱回収効率向上



高耐食性化による
ごみ発電高効率化

高硬度高靱性鋼



新成分+新熱処理技術による
部品硬化熱処理負荷の軽減



- 当社材料技術を活用したエコプロダクトによる社会のあらゆる段階でのCO₂排出削減貢献を目指す
- 今後も長寿命化等、材料特性をさらに強化したエコプロダクトの実装と一層の普及を図ることで、カーボンニュートラル社会の早期実現に貢献していく

エコプロダクト：新製品開発のご紹介

過酷な使用環境における型寿命と製品品質の安定に貢献する金型用鋼
「QTP-HARMOTEX®」を開発 (2022年3月31日)

JIS SKT4に比べて高温強度と靱性を大幅に向上
➡ 熱間ハンマー鍛造用金型に適用することで
変形、摩耗や割れを抑制



■ 金型寿命の向上や鍛造品の成形不良低減に貢献

■ 素材や操業のためのエネルギー消費抑制を通じCO₂排出量を削減

■ カーボンニュートラルの実現に向けたニーズに対応

- ・ 部品の小型化・軽量化を目指した被加工材(ワーク)の高強度化
- ・ 最終製品に近い形状に成形し、後工程を省略・簡略化する需要に応える

～熱間ハンマー鍛造とは～

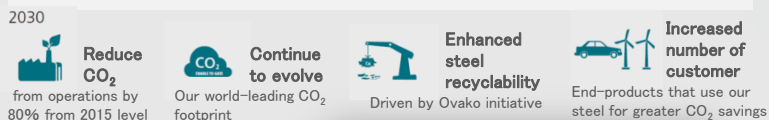
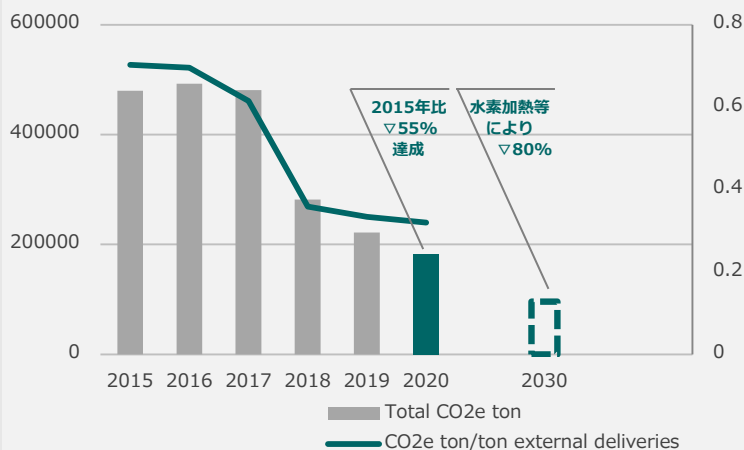
- ・ 自動車や建設機械の足回り部品のような複雑形状の部品の製造に広く用いられる方法。
- ・ 近年のニーズ変化により金型の使用環境が過酷化し、変形や摩耗がより早く進むという課題があった。



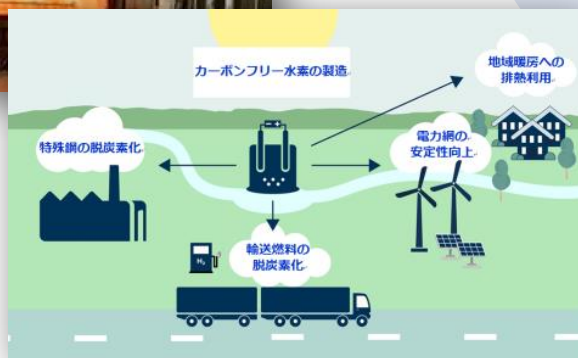
欧州子会社Ovakoの取り組み

Green house gas emissions from operations

CO₂e/ton Scope 1 and 2 according to GHS Protocoll and ISO14064



Ovako SUSTAINABILITY REPORT 2020をもとに作成



特殊鋼製造プロセスで排出するCO₂を
2015年比55%削減

世界初 水素を燃料に用いた鋼片加熱に成功

カーボンフリー水素プラントの建設に着手

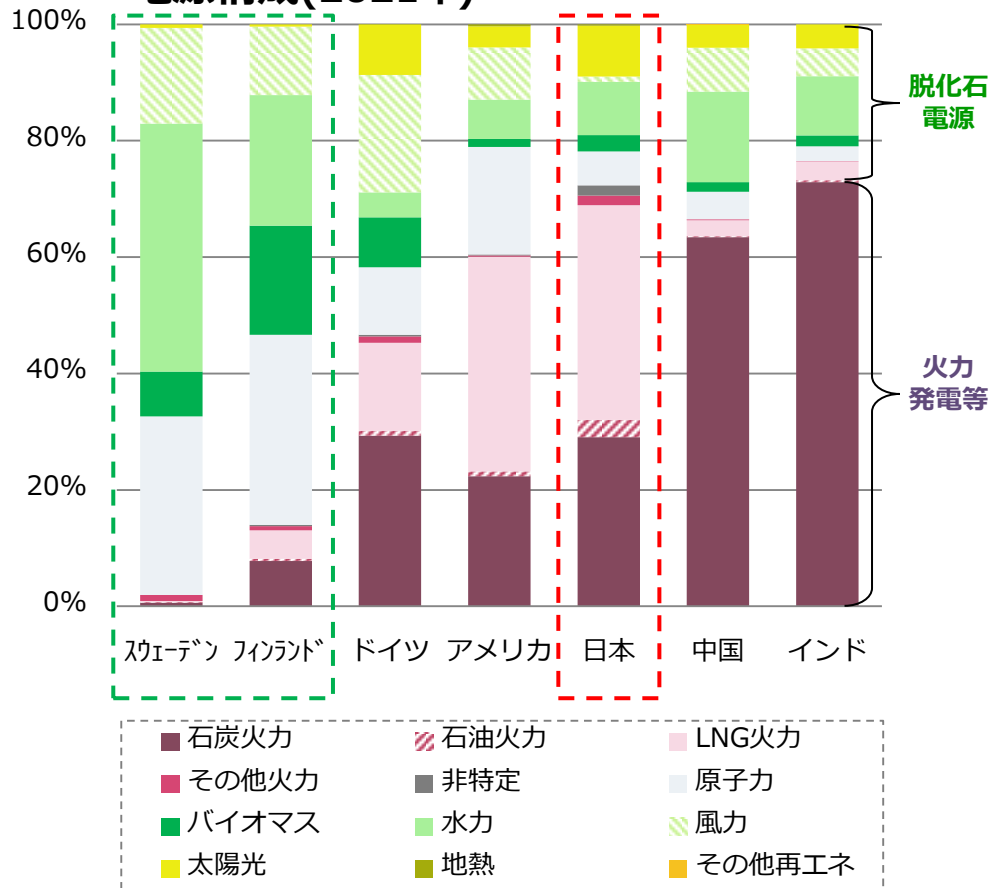
2022年1月から
カーボンニュートラルに移行

自社の製造プロセスにおける
CO₂排出を実質ゼロにする、
カーボンニュートラル体制に移行

- ✓ カーボンオフセットプログラムを活用し、残るCO₂排出量(Scope1 + Scope2)を相殺
- ✓ 気候変動問題への取り組みや投資を促進するため、鋼材価格への気候サーチャージを適用
- ✓ 自社製造プロセスでのCO₂排出削減も引き続き推進

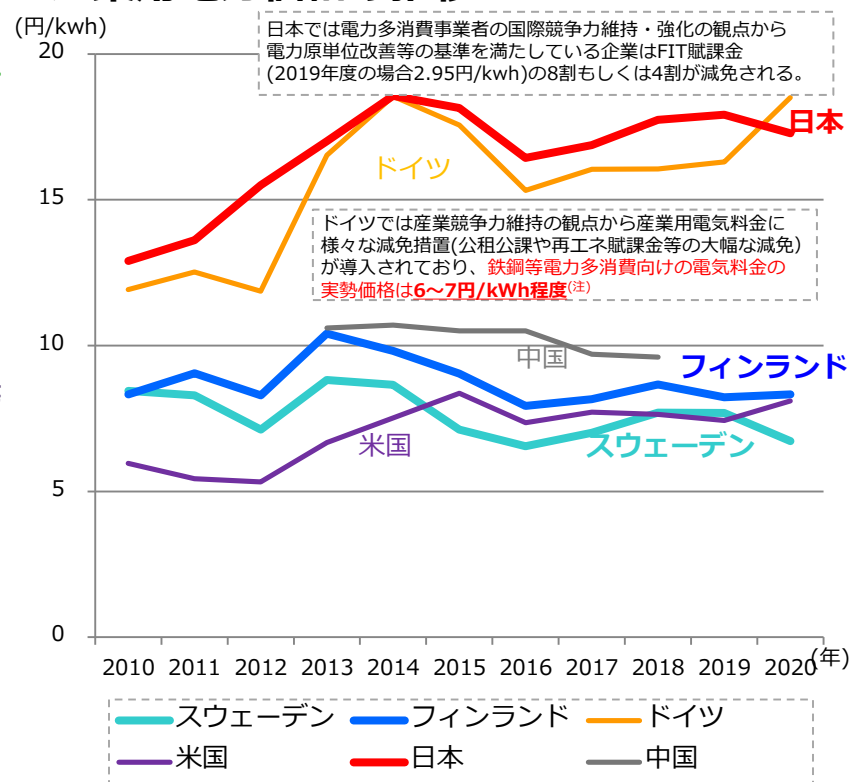
(参考) 各国の電源構成と産業用電力価格

■ 電源構成(2021年)



※ IEA(国際エネルギー機関)「Monthly Electricity Statistics」より当社作成

■ 産業用電力価格の推移



※ スウェーデン・フィンランド・ドイツ・米国・日本については英国ビジネス・エネルギー・産業戦略省「Industrial electricity prices in the IEA」より、中国については、(公財)自然エネルギー財団「中国の電力システム改革」より当社作成

(注) 国際環境経済研究所「海外のカーボンプライシングの実態」

Ovakoの生産拠点が立地するスウェーデン、フィンランドは脱化石電力(水力、風力、原子力)比率が圧倒的に高い

スウェーデン、フィンランドの産業用電力価格は日本の1/2~1/3程度

5. トピックス

トピックス

(1)ダイバーシティ経営のさらなる拡大

当社は、性別にかかわらず能力を発揮して働くことができる職場づくりを推進。
2020年4月1日～2023年3月31日の3年計画で、ダイバーシティ経営をさらに拡大中。

ダイバーシティ推進
取り組み事例

- ・初の女性執行役員



写真右側 参与・内部統制推進部長 須多敦子さん
2022年6月24日就任予定

- ・性別を問わず利用可能な「オールジェンダートイレ」(独立個室型トイレ)を設置



* 女性活躍推進法に基づく一般事業
主行動計画(第2期)

**次世代育成支援対策推進法に基づく一般
事業主行動計画(第6期)

女性社員の平均勤続年数を2020年3月比15%伸ばす*

安定採用に努めるとともに、女性管理職数を1%増加させる*

育児：育児休業制度に関して、計画期間内に、
育児休業の取得状況を所定水準以上とする**

男性社員：男性社員の育児休業取得率を7%以上にする

女性社員：育児休業取得率を80%以上にする

育児：女性社員に対し、仕事との両立やモチベーション
向上等の支援を行う**

年次有給休暇の取得率を70%以上にする**

地域の小学生の工場見学および

高校生、大学生のインターンシップの受け入れ継続**

2020/4/1~2023/3/31

(2) 「健康経営優良法人 2022(大規模法人部門)※」に認定 (2022年3月10日)

※ 経済産業省と日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人認定制度



- ・ 従業員の生活習慣改善やメンタルヘルス不調の未然防止に向けた取り組みを評価
- ・ 社員の健康管理を経営的な視点で捉え、健康投資を実施
- ・ 社員の活力や生産性向上など組織活性化

当社の健康経営への取り組み

～生活習慣改善支援の事例～

- ✓ ウォーキングイベント「SANYO WALK」を開催
- ✓ 禁煙の日（毎月12日・22日）の制定や卒煙サポート研修、禁煙治療費補助制度による禁煙の啓蒙
- ✓ 特定保健指導による生活習慣改善の支援 等

(3) 「一日陸上教室」を開催 (2022年3月29日)

- ・ 当社文化振興財団が「一日陸上教室」を開催。
- ・ 地域の健康増進やスポーツ振興を図ることを目的として2016年より開催しており、今年で5回目。
- ・ 小学4年生から中学3年生までの117人の子どもたちが参加し、当社陸上部員から走り方の指導を受けた。

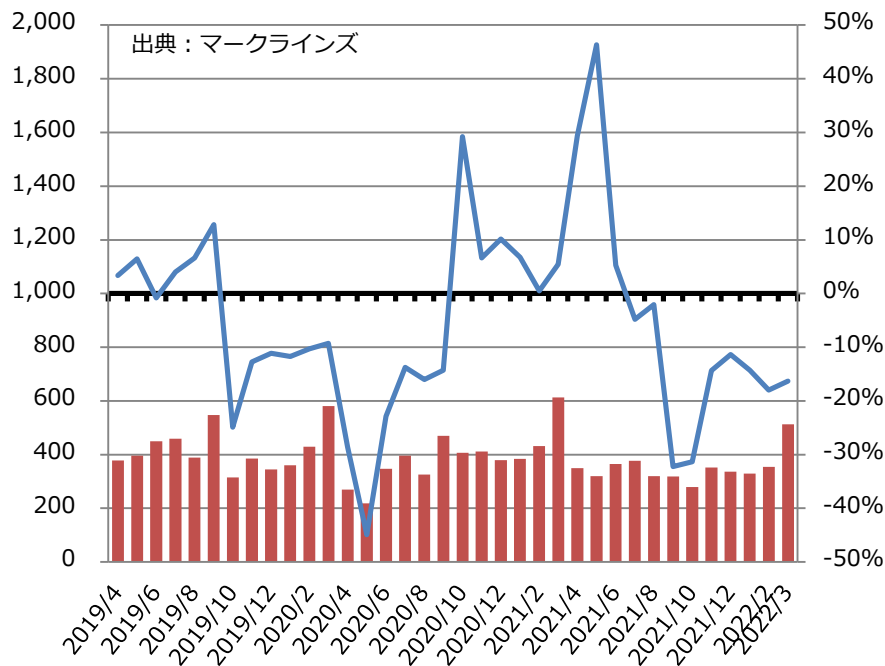


6. 參考資料

自動車市場の動向

日本自動車販売台数 (前年同月比増減率)

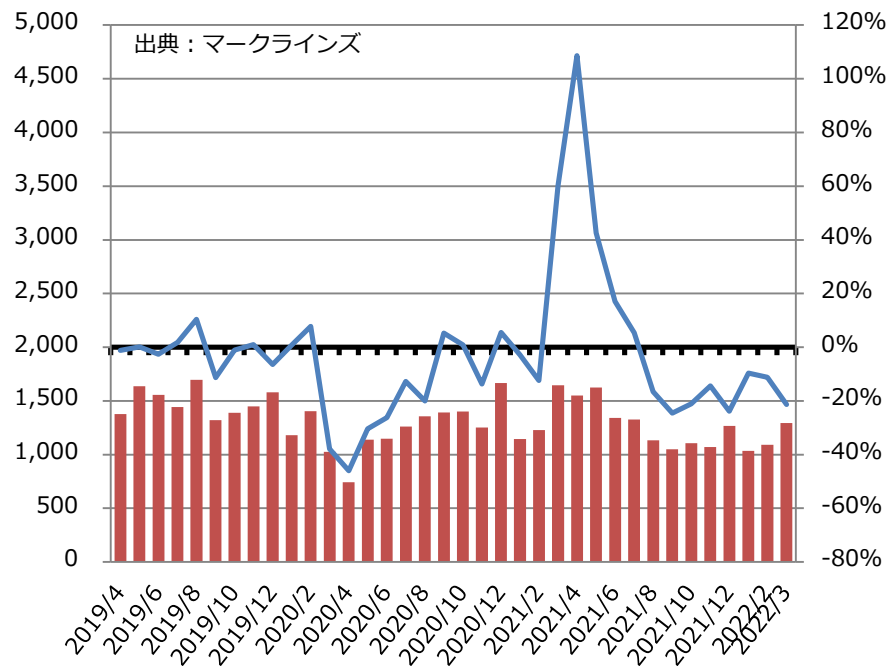
(台数：千台)



- ・ 2020/5を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/5 : 前年同月比 +46.3% (前年同期大幅減の反動)
- ・ 2022/3 : 前年同月比 -16.3%

米国自動車販売台数 (前年同月比増減率)

(台数：千台)



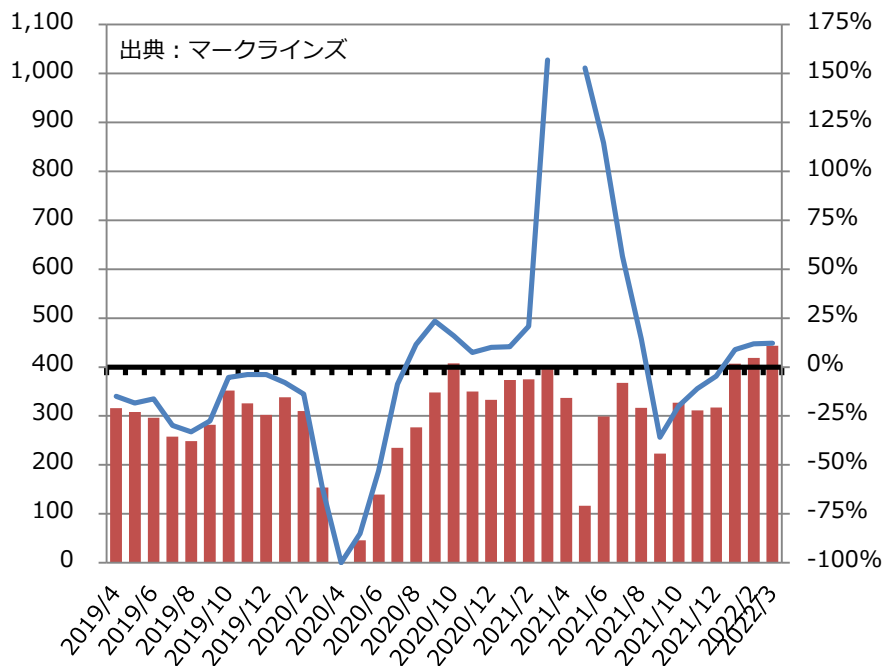
- ・ 2020/4を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/4 : 前年同月比 +108.6% (前年同期大幅減の反動)
- ・ 2022/3 : 前年同月比 -21.3%

自動車市場の動向

インド自動車販売台数

(前年同月比増減率)

(台数：千台)

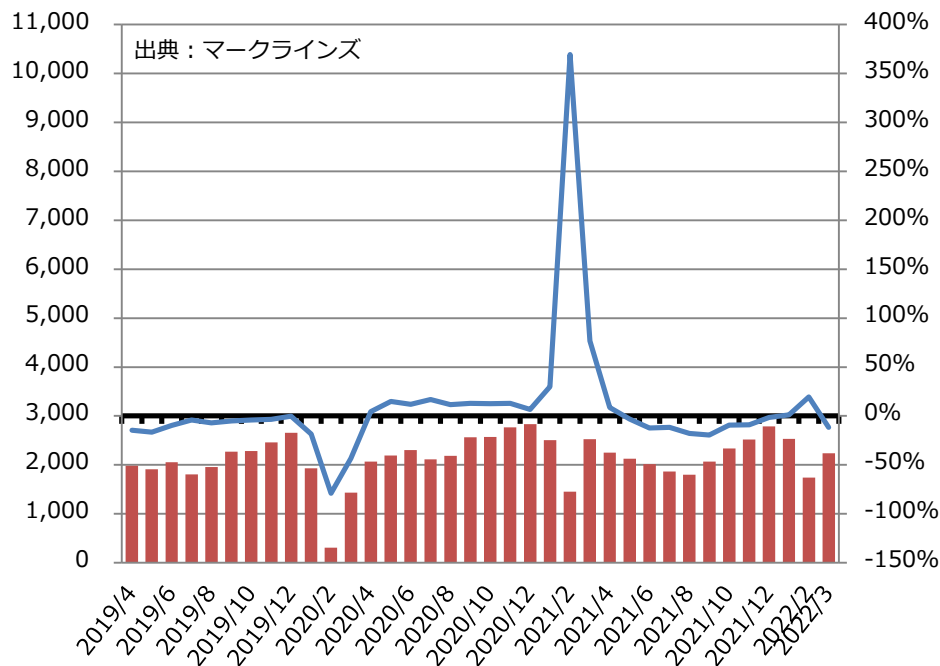


- ・ 2020/4を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/5 : 新型コロナウイルス再拡大影響により一時的に落込み
- ・ 2022/3 : 前年同月比 +12.2%

中国自動車販売台数(工場出荷台数ベース)

(前年同月比増減率)

(台数：千台)

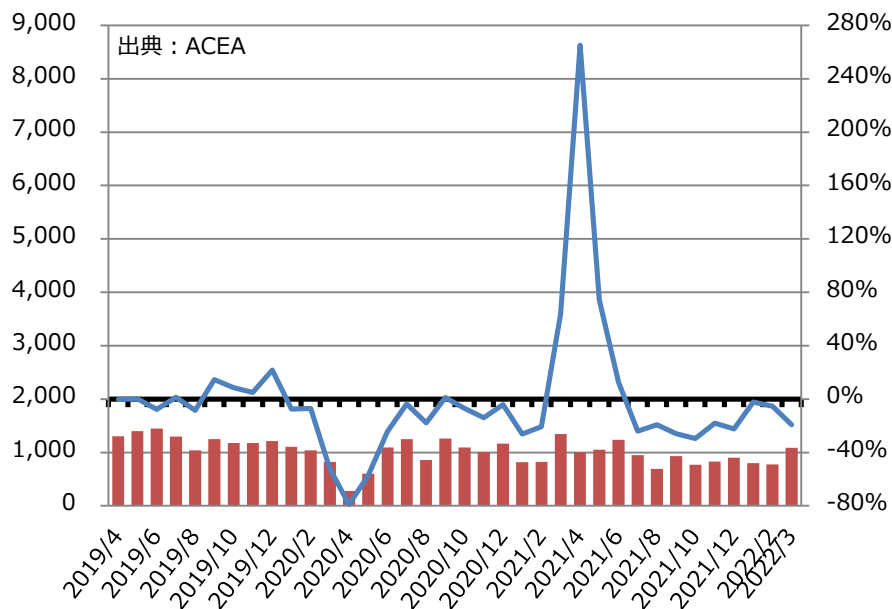


- ・ 2020/2を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/6 : 世界的な半導体不足による自動車生産減少影響で
前年同月比 -12.4%
- ・ 2022/3 : 前年同月比 -11.6%

自動車市場の動向

欧州自動車販売台数 (前年同月比増減率)

(台数：千台)

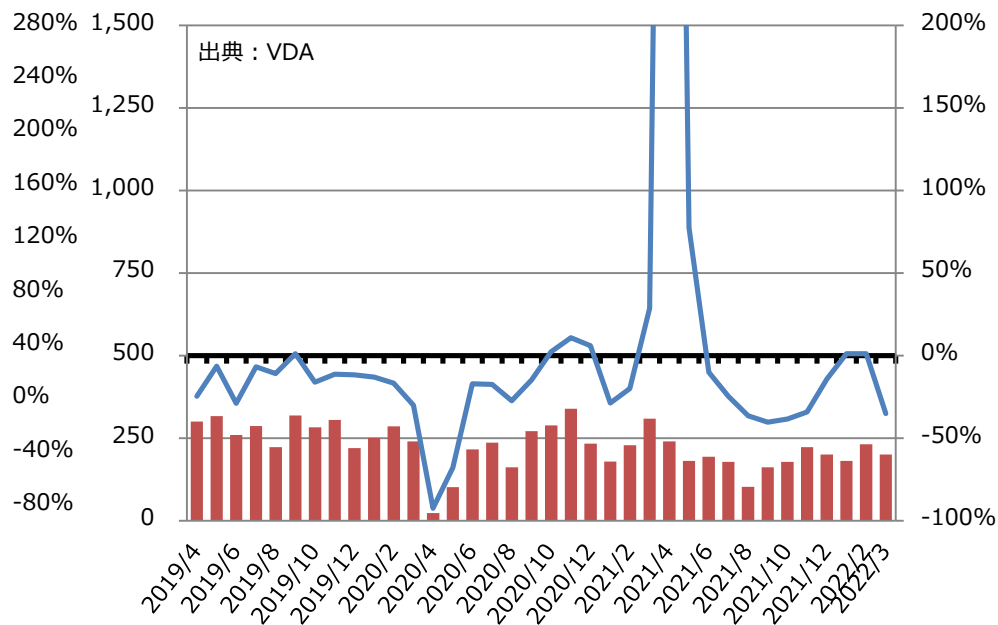


- ・ 2020/4を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/4 : 前年同月比 +265.0%(前年同月大幅減の反動)
- ・ 2022/3 : 前年同月比 -19.2%

ドイツ自動車輸出台数 (前年同月比増減率)

(台数：千台)

2021/4 前年同月比958.5%



- ・ 2020/4を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/4 : 前年同月比 +958.5%(前年同月大幅減の反動)
- ・ 2022/3 : 前年同月比 -35.2%

産業機械・建設機械市場の動向

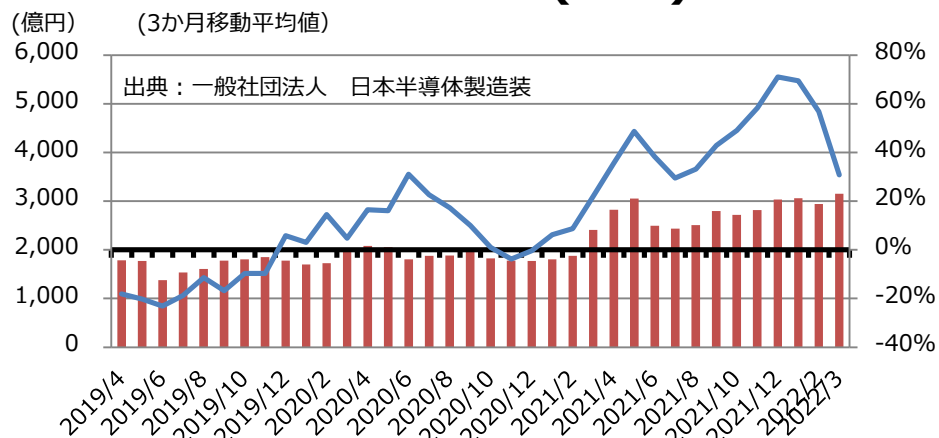
工作機械受注金額（日本）

（前年同月比増減率）



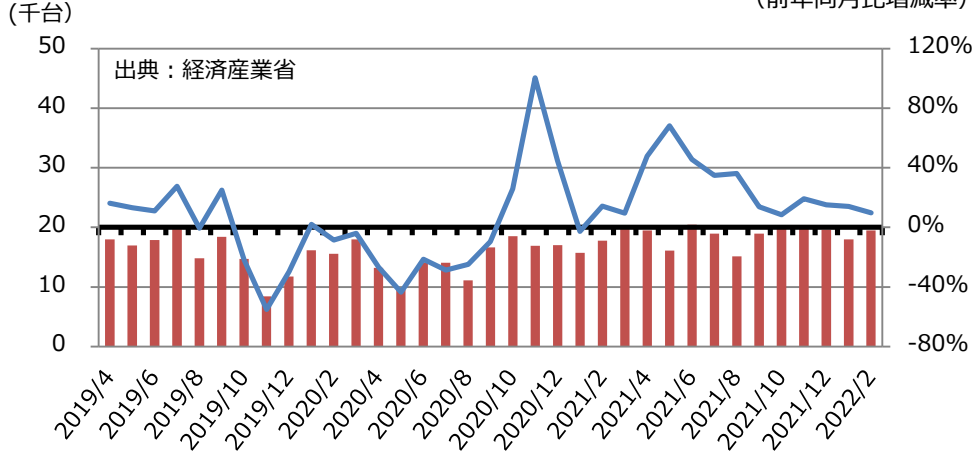
半導体製造装置販売金額(日本)

（前年同月比増減率）



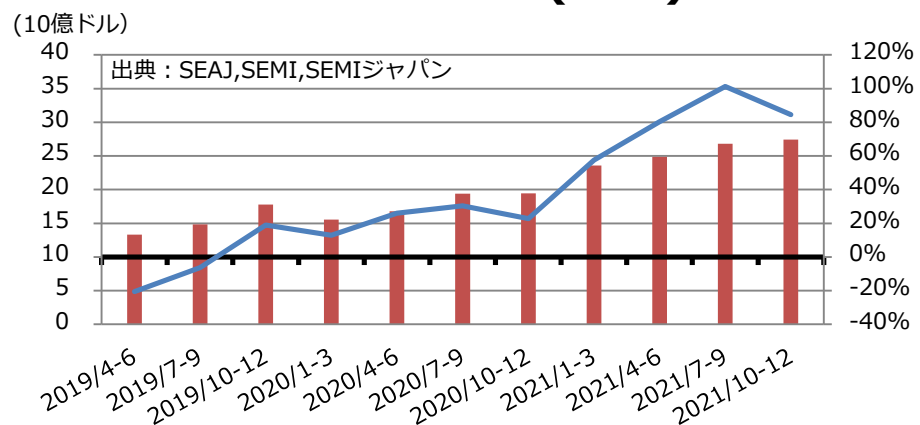
ショベル系建設機械国内生産台数

（前年同月比増減率）



半導体製造装置販売金額(世界)

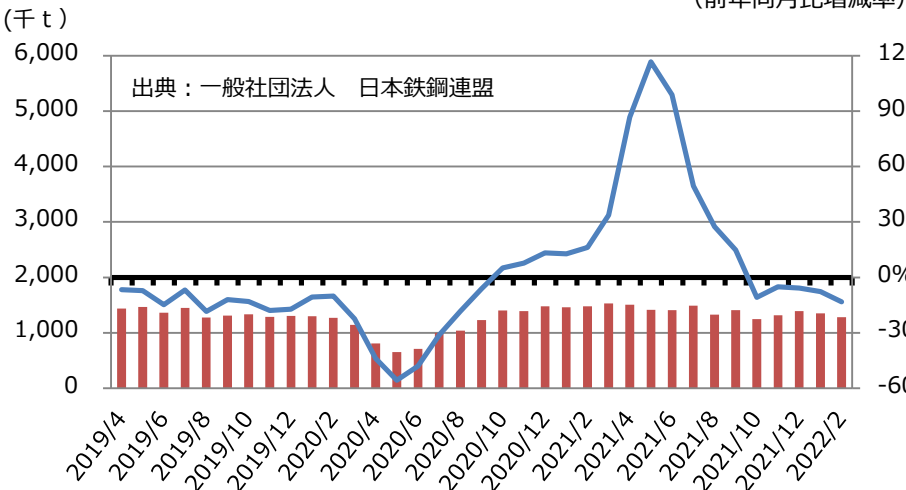
（前年同月比増減率）



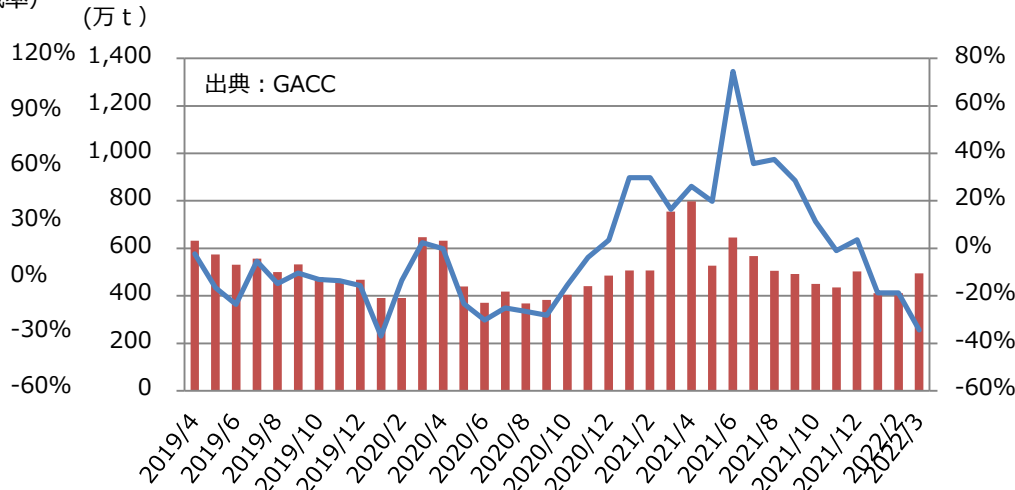
工作機械 : 新型コロナウイルス影響で2020/5に前年同月比-53%まで下落。足元では同+30.2%。
半導体製造装置 : 2020/7以降、米中貿易摩擦の影響で日本では前年同月比減少傾向。
 2020/12以降は、5G普及による需要増、世界的な供給不足に伴うメーカーの増産投資意欲の高まりで回復。
 2022/3は前年同月比+30.8%。
建設機械 : 2020/2以降は新型コロナウイルス影響で前年同月比でマイナス推移。
 2020/10以降は中国や欧米での需要回復と前年の反動で前年同月比プラス。足元では同+9.7%。

特殊鋼需要の動向

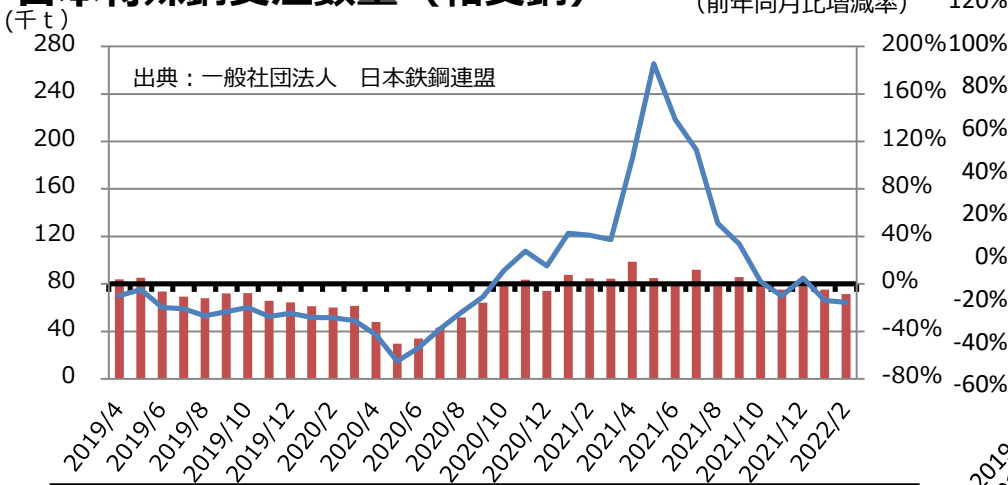
日本特殊鋼受注数量（特殊鋼）



中国鉄鋼製品輸出数量

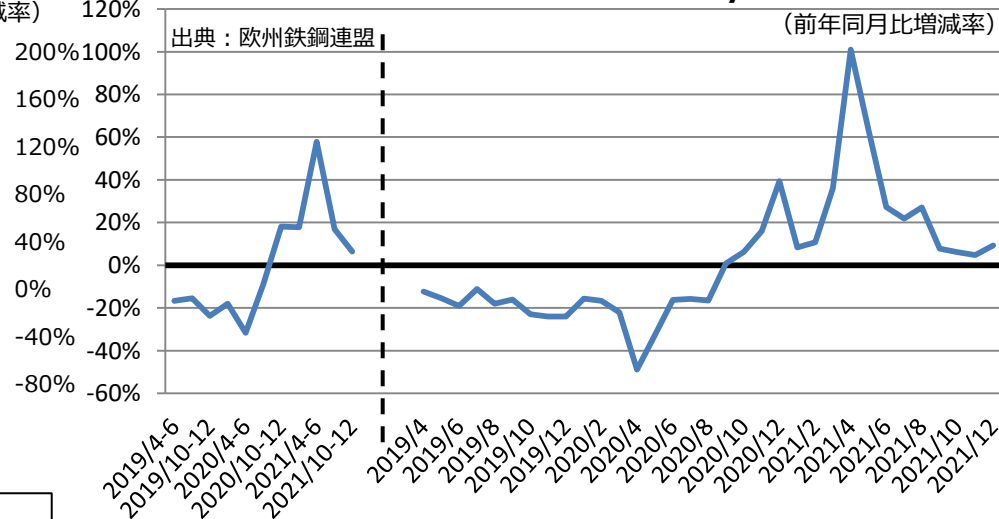


日本特殊鋼受注数量（軸受鋼）



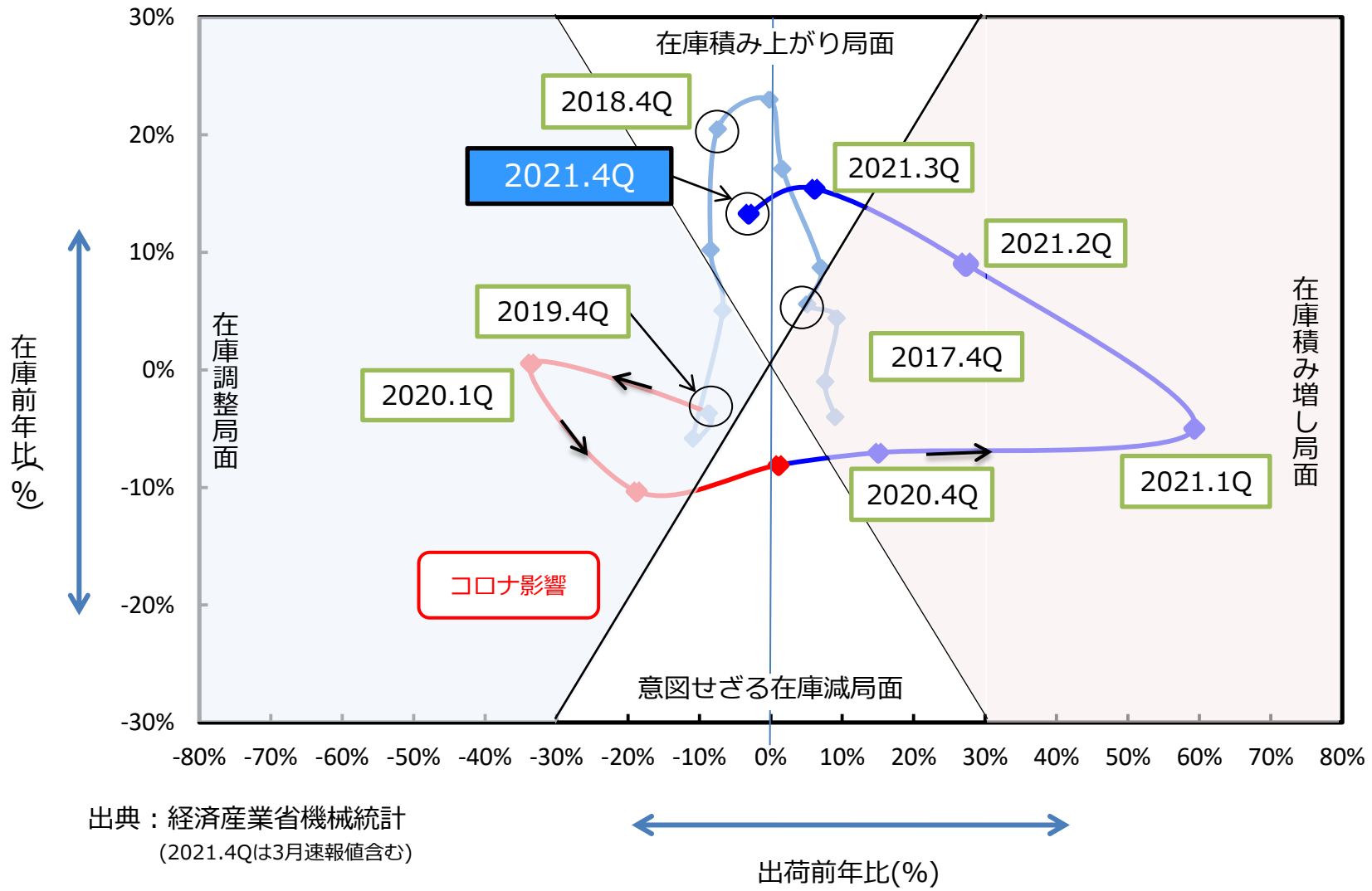
軸受鋼は、2020/5を底に新型コロナウイルス影響から回復。
足元、自動車減産、在庫調整影響が現出。
2022/2は前年同月比-15.6%。

欧州デリバリー数量 棒鋼&平鋼/構造用合金鋼



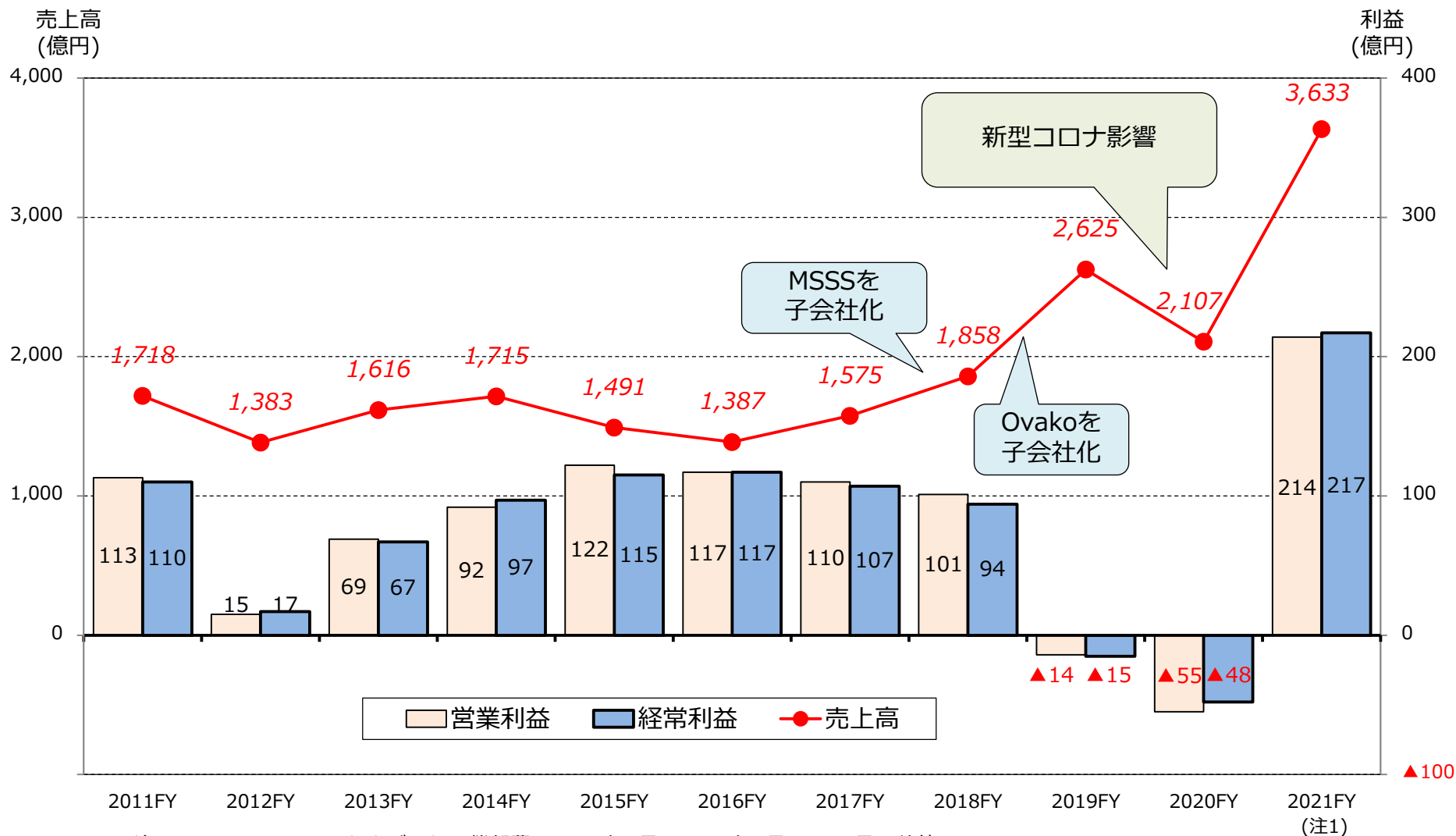
欧州デリバリー数量は2020/4に底打ちし、以降回復傾向。
2021/4は前年同期大幅減の反動で前年同月比 +101.0%。
2021/12は前年同期比で+9.2%。

軸受在庫循環図



出典：経済産業省機械統計
(2021.4Qは3月速報値含む)

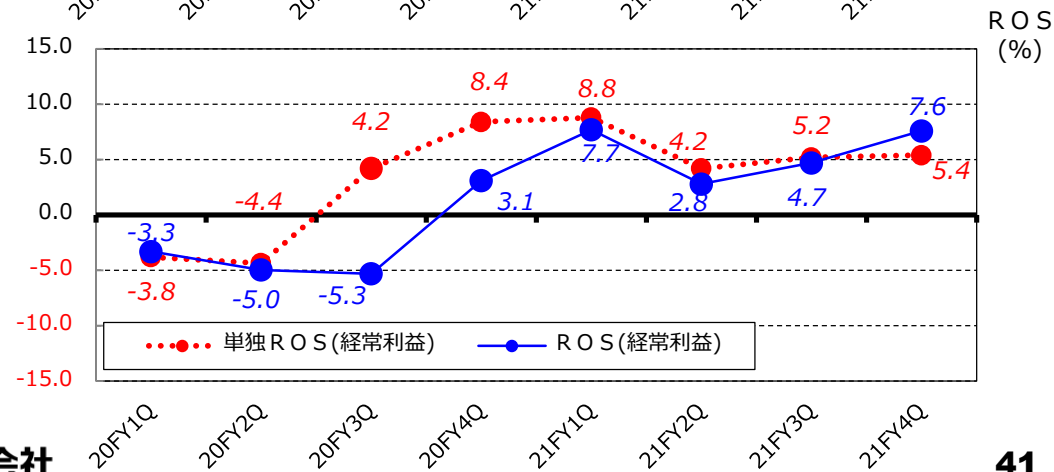
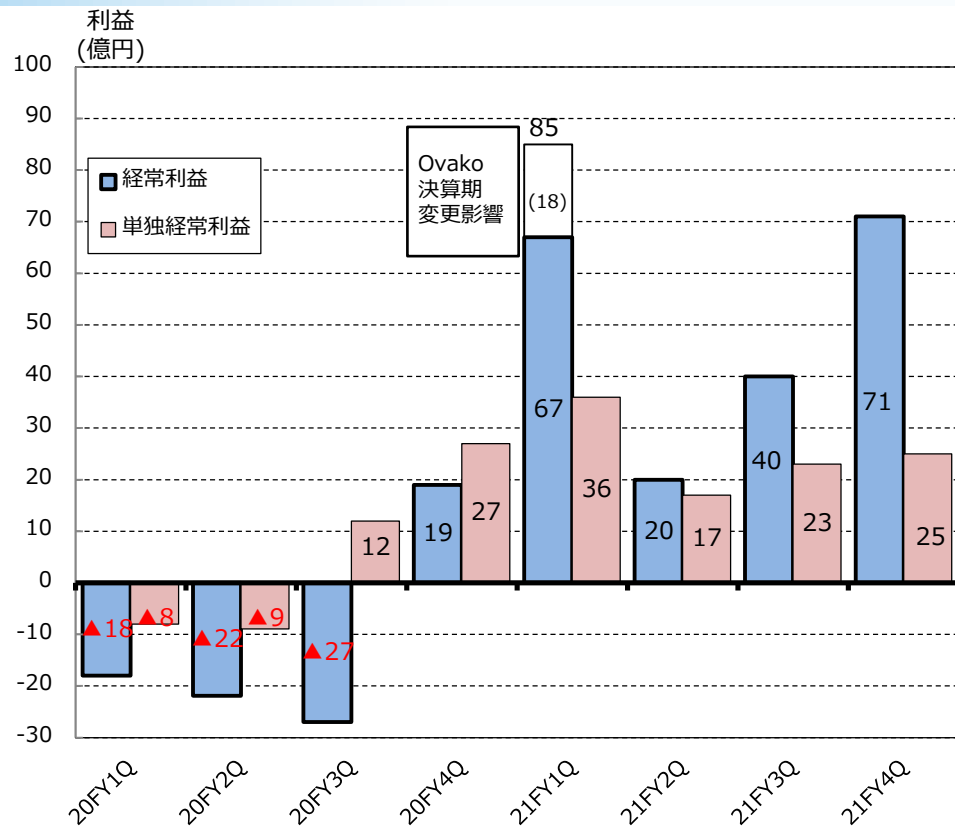
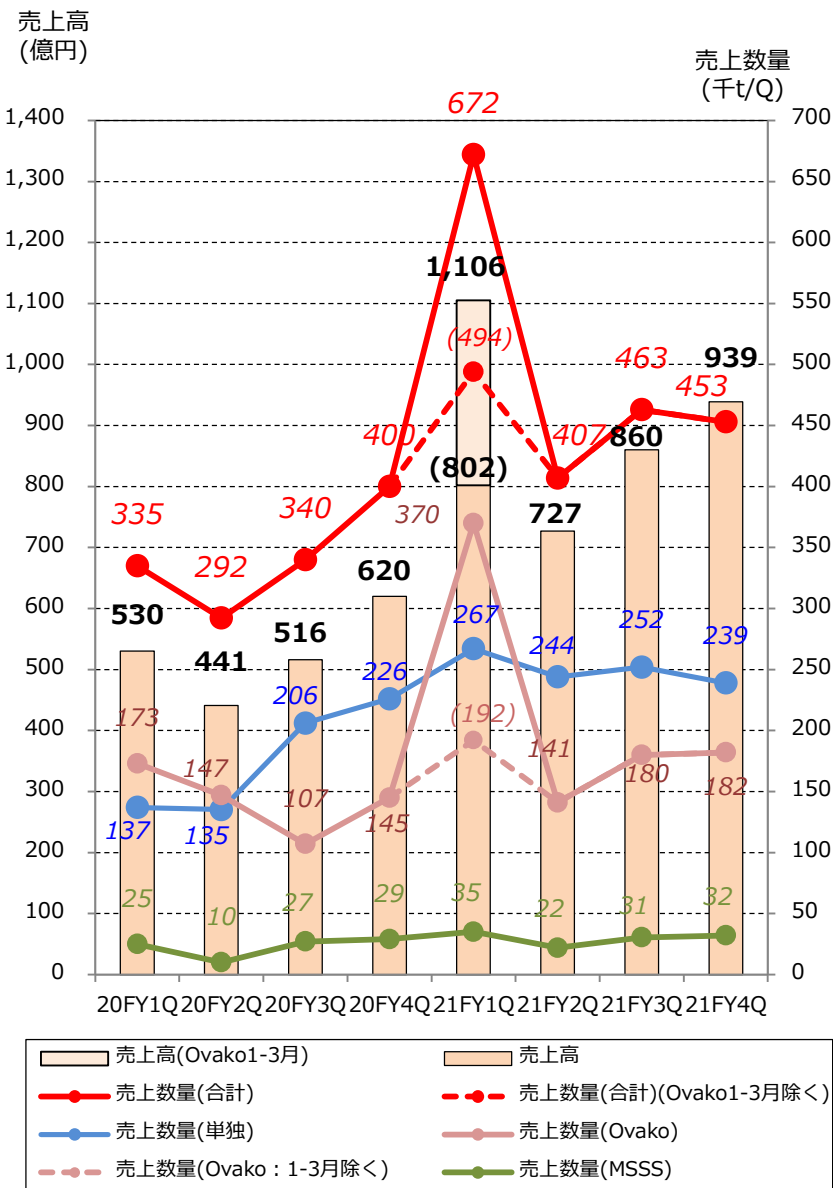
業績推移(年度)



(注1) 2021FYのOvakoおよびのれん償却費は2021年1月～2022年3月の15カ月の数値。

(注2) MSSSは2018FY2Qから、Ovakoは2019FY1Qから損益を連結。

業績推移(四半期)



損益の詳細 (対2020FY)

(単位：千t、億円、円/株)

	21FY上期 (A)	21FY下期 (B)	2021FY (C) = (A)+(B)	2020FY(D)	増減(C) - (D)	増減率 (%)
売上数量	1,079	916	1,995	1,367	628	46.0
内、当社単独	511	491	1,002	704	298	42.3
内、Ovako(注1)	511	363	873	572	302	52.8
内、MSSS(注2)	57	62	119	91	29	31.7
売上高	1,833	1,800	3,633	2,107	1,526	72.4
内、当社単独	796	892	1,688	1,036	652	62.9
内、Ovako	930	780	1,709	897	813	90.6
内、MSSS	77	97	173	103	71	68.7
営業利益	104	110	214	▲55	269	—
内、当社単独	48	43	92	17	75	435.9
内、Ovako	70	68	138	▲25	163	—
内、MSSS	3	4	7	▲10	17	—
内、のれん償却費(注1)	▲20	▲14	▲34	▲26	▲8	—
経常利益	105	112	217	▲48	264	—
内、当社単独	52	47	99	22	77	350.9
内、Ovako	68	66	134	▲24	158	—
内、MSSS	2	2	4	▲13	17	—
内、のれん償却費	▲20	▲14	▲34	▲26	▲8	—
税後利益(注3)	73	80	153	▲69	221	—
1株当たり税後利益	133.8		280.2	▲126.1	406.3	—
のれん償却費を除く営業利益	124	124	248	▲29	277	—
のれん償却費を除く経常利益	125	125	250	▲21	272	—
のれん償却費を除く税後利益	93	93	186	▲42	229	—
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	170.8		342.1	▲78.0	420.1	—

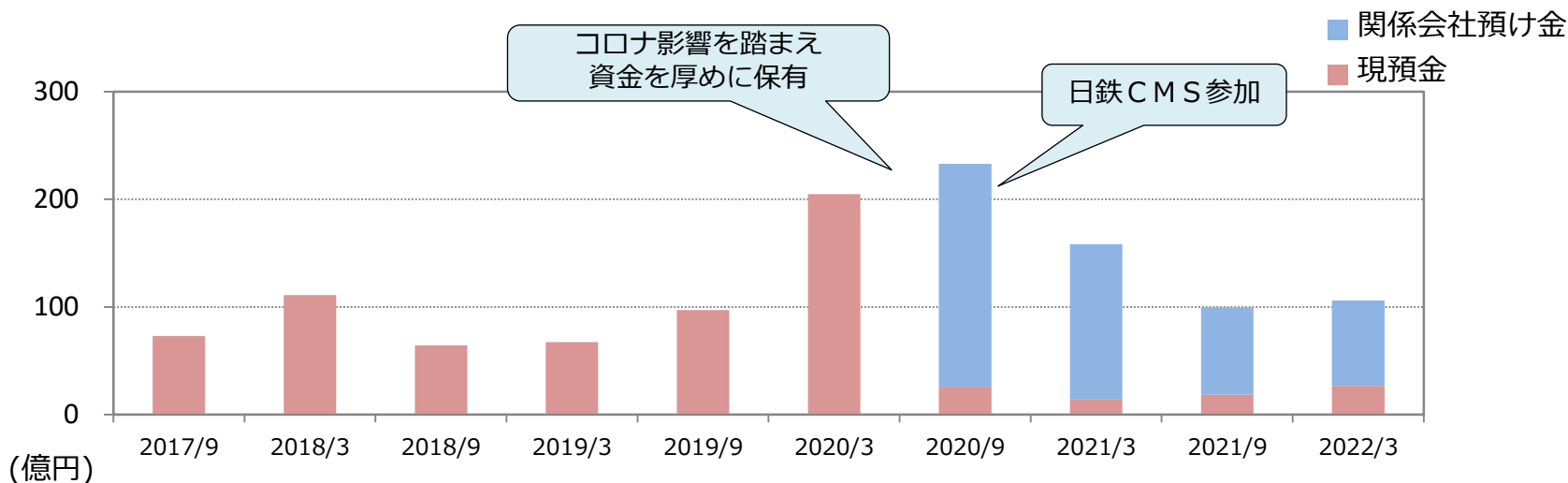
(注1) Ovakoおよびのれん償却費:2021FYは2021年1月～2022年3月の15カ月の数値、2020FYは1月～12月の12カ月の数値

(注2) MSSS : 1～12月の12カ月の数値 (注3) 当期純利益

関係会社預け金について

- 2020年6月より、日本製鉄の連結キャッシュマネジメントシステムに参加。
- 当社の日々の残高を日本製鉄に預けるとともに、当社として資金所要があればいつでも引き出し可能。
- 万が一当社に資金ショートが発生した場合には、自動的に緊急融資がされる仕組み（資金のセーフティネットとして機能）。
- 従来の現預金の保有では得られなかった利息を受領できる。
- 会計処理上は、預け金という形になっているが、必要に応じて当社の運転資金となるものであるため、従来の現預金という性質には変わらない。

関係会社預け金を含む現預金等の推移（単独）



未来への信頼を担う

当社の掲げる「信頼の経営」は地球環境の未来を担う。その思いを大切に、山陽特殊製鋼はこれからも躍進を続けます。



SANYO SPECIAL STEEL - the Confident Choice

(ご注意)

本資料の業績予想等は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。



「さんとくん」
(当社キャラクター)